

令和8年度

宮崎県立図書館要覧



宮崎県立図書館

館旗



館歌

宮崎県立図書館の歌

作詞 中村地平
黒木清次
作曲 園山民平



1. 燕交う 南の街に
楠若葉 陽光にそよぎ
ここに立つ 白亜の殿堂
ああ その窓を世界にひらく
宮崎図書館

3. 木犀の匂う夕に
歌は充つ 希望もとめて
うち集う 叡智の友の
ああ ここに汲む文化の泉
宮崎図書館

2. 双石の 山脉青く
この窓辺 真理をたずね
書とけば わが生きる日の
ああ 新なる生命はわけり
宮崎図書館

4. 赤江灘 潮騒遠く
もの思う 葦は萌えたち
この世紀 平和の国を
ああ 打ちたてん願いは強し
宮崎図書館

〈目 次〉

.....	【第1部】	
1	運営方針	1
2	令和8年度の主な取組	3
3	組織	6
4	令和8年度当初予算	7
5	令和7年度施設の維持管理	7
6	令和8年度事業計画	8
.....	【第2部】	
1	資料概要	10
(1)	配架別・分類別資料数	10
(2)	資料購入の推移	10
(3)	貴重資料	10
(4)	資料整備状況	12
①	資料受入	12
②	資料受入区分別・分類別資料数	12
(5)	保存資料（マイクロフィルム）の所蔵状況	12
(6)	貴重書デジタルアーカイブ	12
2	事業実績	13
(1)	利用事業（団体等貸出を含む）	13
①	年度別貸出利用状況の推移	13
②	貸出利用地区別内訳	14
(2)	館内利用事業	15
①	入館者及び貸出利用等	15
②	その他サービス等	17
(3)	館外利用事業	21
①	やまびこ文庫	21
②	セット文庫	22
③	子育て支援図書セット貸出	22
④	団体文庫	22
(4)	図書館ネットワーク事業	22
①	公共図書館・室	22
②	県立学校	23
③	大学等	23
(5)	訪問支援	24
①	定期訪問	24
②	要請訪問	24
(6)	アドバイザー派遣	24
(7)	視聴覚事業	24
①	視聴覚資料等貸出利用状況	25
②	視聴覚行事	25
(8)	ひなた電子図書館	26
①	電子書籍サービス(電子図書館サービス拡充事業)	26
②	貴重書デジタルアーカイブ	26
③	デジタル宮崎県史(『宮崎県史』デジタルアーカイブ)	26
④	広報活動	26
(9)	閲覧室内展示	27
①	特設展示コーナー	27
②	産廃基金コーナー	27
③	企画展示コーナー	27
④	博物館との連携展示	27

(10) 関係機関と連動した情報発信事業	28
① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業）	28
② 県内公共図書館・室における巡回展	28
(11) 文化活動事業	29
① 第 67 回「こどもの読書週間」関連行事	29
② 第 79 回「秋の読書週間」関連行事	30
③ 特別展等	31
④ 郷土史料等学習活動	32
(12) 郷土資料調査研究事業	33
① 『宮崎県史料』	33
② 『宮崎県文化講座研究紀要』	33
③ 貴重書デジタルアーカイブ	33
④ デジタル宮崎県史	33
(13) 広報活動等	33
① 「緑陰通信」発行事業	33
② ホームページ等活用事業	33
③ 体験学習・施設見学	34
(14) 「かば先生文庫」	35
(15) 講演会等の主催・共催	35
① 小さな子どものえほん読み聞かせ講座	35
② 若山牧水生誕 140 年記念講演「牧水の歌を読みなおす」	35
③ 「第 12 回高校生ビジネスプラン・グランプリ ビジネスプラン作成講座」	36
④ 「みやざき自然塾コロキウム」	36
⑤ 令和 7 年度「いいお産の日 in 宮崎」	37
⑥ 「読書県みやざき」×「宮崎だいすきポケモン」ナッシーを活用した読書振興の取組	37
⑦ 歌人大口玲子さんの短歌講座	37
⑧ 「大人も楽しむおはなし会」	38
(16) 大学及び大学図書館との連携	38
(17) 研修	38
(18) 図書館サポーター	40
3 各種協議会等	41
(1) 県立図書館協議会	41
(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会	41
(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会	42
4 令和 8 年度宮崎県立図書館資料推薦委員	44
..... 【参考資料】	
1 沿革	45
(1) 県立図書館の歩み	45
(2) 歴代館長一覧	49
2 県立図書館条例・規則等	50
(1) 県立図書館条例	50
(2) 県立図書館管理規則	50
(3) 県立図書館協議会運営規則	55
(4) 宮崎県立図書館資料収集方針	56
(5) ひなた電子図書館サービスにおける電子書籍選書方針	58
(6) 宮崎県立図書館「みどりに関する資料」特別収集要領	59
(7) 資料の除籍に関する要項	60
3 施設概況	61
4 市町村立図書館一覧	62
5 利用案内	63

【第1部】

令和8年度の運営方針等について

1 運営方針

○ 県立図書館の理念

「人づくりと地域づくりに役立つ図書館」

○ 県立図書館ビジョン

宮崎県立図書館は、県の中核図書館として、今後目指すべき姿や施策展開の方向性等を明確にするため、平成29年12月に「県立図書館ビジョン」（平成30年度から令和9年度までの10年間）を策定しました。

その後のデジタル化の急速な進展や感染症の流行拡大等に直面し、図書館運営を取り巻く環境が変化したことなどから、令和5年2月に一部改定しました。（期間は令和9年度まで）

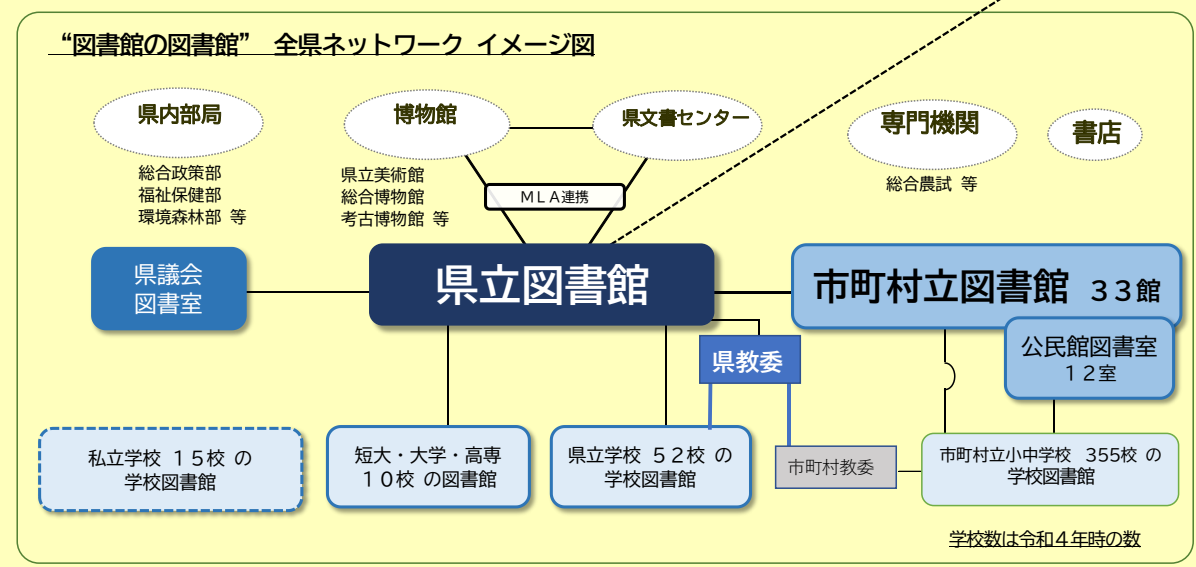
当該ビジョンにおいては、「人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館」を基本目標に、その達成のために3つの行動指針を定め、さらにそれぞれの行動指針に沿って今後の施策展開の方向性を示しました。

ビジョンの全体像

基本目標 人の暮らしを豊かにし、地域の課題解決に役立つ図書館

行動指針

- 1 図書館の図書館(全県ネットワーク)
- 2 みやざきの資料(地域資料)の拠点
- 3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える



※MLA連携…Museum(博物館)、Library(図書館)、Archives(文書館)といった施設間の枠組みを超え、相互に協力して文化資産等の収集・保存や情報提供等を行うためのつながり。

○ アクションプラン

県立図書館では、今後も宮崎県立図書館の理念及びビジョンのもと、3つの行動指針及び施策展開の方向性に沿って、アクションプラン(令和8年度から令和9年度までの2年間)に掲げた取組を実施してまいります。

行動指針 及び 施策展開の方向性

指針1 図書館の図書館(全県ネットワーク)

- (1) 市町村立図書館(室)等の支援・協力
- (2) 学校図書館の支援
- (3) 大学図書館への利用促進
- (4) 図書館活動・ネットワークを支える施設・システムの維持管理
- (5) 図書館の図書館としての情報発信

指針2 みやざきの資料(地域資料)の拠点

- (1) 地域資料の収集・保存・発信の全県的な促進
- (2) 地域情報のデジタル化・データベース化

指針3 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

- (1) レファレンスサービスの充実
- (2) 専門的な資料・情報の収集・整理・保存・提供
- (3) 生涯読書活動の推進
- (4) 他の専門機関との連携
- (5) 情報アクセス環境の整備
- (6) 政策立案の支援
- (7) 地域の実情に応じた課題解決型サービス
- (8) 専門的なサービスを支える人材の育成・確保
- (9) 新たな動向の把握及び事業の改善

《令和8年度の重点取組事項》

- 事項1 「ひなた電子図書館」の活用促進
- 事項2 障がい者サービスの情報発信による利用促進
- 事項3 市町村立図書館(室)・学校図書館に対する支援
- 事項4 ネットワークや物流を活用した遠隔地サービスの利用促進
- 事項5 専門的資料及び地域資料の収集・整理・活用
- 事項6 県内公共図書館(室)職員の専門性の向上

2 令和8年度の主な取組

(1) 図書館の図書館(全県ネットワーク)

① 「ひなた電子図書館」の充実と活用促進

重点取組事項1

重点
取組

地域資料のデジタル化及びデジタルアーカイブ等の情報発信・提供について充実を図り、魅力や利便性を広く周知するとともに、関係機関と連携して電子書籍サービスの活用促進に努める。(企画・資料管理・普及支援・郷土情報)

② 訪問等による市町村支援

重点取組事項3

重点
取組

「市町村支援チーム」を館内で連携して編成した上で、定期的又は要請に応じて訪問し、各市町村立図書館(室)の課題やニーズ等に関する情報共有を図るとともに、図書館(室)運営や読書振興、図書館サービスのあり方等について助言や支援を行う。(普及支援)

③ 学校図書館への支援

重点取組事項3

重点
取組

学校司書等との関係を密にしてマイラインサービスの活用や地域の公共図書館(室)との連携を促進し、学校図書館の活性化や児童生徒の読書活動の推進につなげる。(普及支援)

④ 研修による市町村のスキルアップ

重点取組事項6

重点
取組

県立図書館や公共図書館連絡協議会の事業による専門的な研修をはじめ、市町村の要請や図書館を取り巻く新たな動きを捉えた個別研修等を行うことで、県内市町村立図書館(室)職員の資質向上を図る。(普及支援)

⑤ 「セット文庫」等の活用による町村支援

重点取組事項3

重点
取組

町村立図書館(室)及び学校に対して、読書活動や調べ学習を支援するための「セット文庫」等をニーズに合わせて貸し出すことで、読書環境の充実を支援する。(普及支援)
※セット文庫…テーマ別にセット組にした資料。町村立図書館(室)や対象の学校に対し、必要に応じて貸し出す。

⑥ マイラインサービス等物流の活用による利用促進

重点取組事項4

重点
取組

大学図書館や県立学校、私立学校などとのマイライン接続を拡充するほか、マイラインサービスのさらなる周知や、市町村と協力して新たに運用する「ネットでお取り寄せサービス」の普及、迅速で効率的な物流の維持管理に努め、利用促進を図る。(普及支援・情報提供)
※マイラインサービス…県立図書館の図書を最寄りの市町村立図書館(室)で予約して借りることができる貸出サービス「県立図書館の本お取り寄せサービス」のこと。マイラインとは、「Miyazaki Prefectural Library Advanced Information Network System」の略称。
※ネットでお取り寄せサービス…県立図書館の図書をオンラインで予約し、最寄りの市町村立図書館(室)で受取・返却できるサービスのこと。

⑦ 収蔵スペースの確保に向けた検討

配架方法の見直しを進めるとともに、収蔵スペースの確保に向け、新たな書庫増設について関係機関と検討を行う。(全担当)

⑧ 危機管理対策

利用者の安全・安心な利用はもとより、非常時の職員の安全確保等、様々な危機事象を想定した館内施設の点検や整備、必要な防災訓練等を実施する。(総務)

(2) みやぎきの資料(地域資料)の拠点

① 地域資料の収集・整理・保存・活用

重点取組事項5

重点
取組

県の機関や市町村に対して地域資料の提供を呼びかけ、積極的な把握と収集に努め、地域資料の充実を図るとともに、ポーンデジタルなどの地域資料の収集に取り組む。

また、地域資料の発掘・調査や歴史的事象の紹介・検証に重要な役割を果たしている県内各地の史談会等の活動を支援しながら、地域資料の掘り起こしや保存に取り組む。(郷土情報)

※ポーンデジタル…冊子ではなく電子媒体で提供することを前提として作成当初からデジタル形式で記録された情報コンテンツ。

② 地域資料のデジタル化

重点取組事項5

重点
取組

「資料デジタル化基本方針」をもとに、希少性や利用ニーズ、劣化の状態などを考慮して地域資料のデジタル化に取り組む。

また、貴重資料の整理状況を確認し、データベース化するとともに、デジタル化した資料を公開し、利用者が利用できる手立てを講じる。(郷土情報)

③ 本県文化の魅力に関わる地域情報の発信

重点取組事項5

重点
取組

本県の偉人や文化振興と関わりの深い人物等についての県内各種研究・学術団体等と連携した文化講座などを通じて、本県の歴史・文化をはじめとする幅の広い地域情報の発信を行う。(企画・郷土情報)

④ 受入資料の整理と調査・分析

重点取組事項5

重点
取組

杉田文庫関係資料の整理の成果を公開するため展示会を開催する。また、高鍋町図書館から受け入れた資料等を整理し、歴史的意義を調査・分析する。(郷土情報)

※杉田文庫…宮崎市の杉田正臣氏により寄贈された、江戸初期から昭和期に至る約1万2千点もの俳諧・歴史書・医学書などからなる資料で、昭和60年に創設。

(3) 調べたい、学びたいに資料・情報・知識で応える

① 障がい者サービスの情報発信による利用促進

重点取組事項2・6

重点
取組

電子書籍を含め、アクセシブルな書籍や端末機器等について情報発信し、読書が困難な利用者をサポートするほか、来館が困難な利用者に対しては、郵送サービス等について分かりやすく案内するなど、誰もが利用しやすい図書館づくりに努め、利用を促進する。

また、県内図書館(室)職員向けの研修を実施し、読書バリアフリー法に係る読書活動を推進する職員等の資質向上を図る。(普及支援・情報提供)

※読書バリアフリー法…全ての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられることを目的に令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」。

② 県立図書館ならではの資料収集

重点取組事項5

重点
取組

市町村立図書館(室)では収集が難しい専門書・参考図書等を中心に、全分野の資料を網羅的に収集するとともに、図書館サービスの地域間格差の改善も考慮した資料の収集に努め、県全体での効果的な資料の充実を図る。(資料管理)

③ レファレンスサービスの充実

専門機関との連携や担当職員の能力向上に努めるとともに、県立図書館の有する資源(専門知識、資料、データベース等のデジタル情報、施設設備)を生かしたレファレンスサービスを適切に提供するほか、県行政機関へのサービス周知を図り、政策立案の支援につなげる。(情報提供)

④ 子育て世代への支援

乳幼児の親を対象とした読み聞かせ講座を行い、子育てにおける読書活動を支援するとともに、市町村立図書館(室)にも普及を図る。(普及支援・情報提供)

⑤ 県民参加型の生涯読書活動の推進

地域や他の専門機関と連携して所蔵資料等を活用した県民参加型のモデル的取組(例:ウィキペディアタウン)の新たな動向等を把握し、県内への普及を図ることで県民の生涯読書活動を推進する。(企画・郷土情報・情報提供)

※ウィキペディアタウン…地域の文化財などを調査し、インターネット百科事典「ウィキペディア」の記事を作成・編集するイベント。

⑥ 専門研修の受講による人材の育成・確保

重点取組事項6

重点
取組

県内外の専門研修等に計画的に派遣、又はオンラインによる受講を促し、職員の専門性の向上を図るとともに、成果の共有や業務の改善、市町村立図書館(室)への支援・助言に生かす。(全担当)

⑦ 書誌データ等の充実・改善

蔵書検索システムで利用される書誌データのさらなる充実とデータ検索機能の改善を図り、利用者が求める資料をより簡便に見つけやすくするよう整備する。(資料管理)

※書誌データ…図書等のタイトルや編著者、出版社、出版年、大きさ、ページ数などを記述したもの。目次データや人物等の情報を加えることで検索しやすくなる。

⑧ 地域課題解決に関する市町村立図書館(室)の意識の醸成

市町村立図書館(室)を訪問し、地域の実情を把握した上で、それぞれの地域に応じて必要な情報を提供し、図書館(室)として地域課題の解決に取り組む意識の醸成を図る。(普及支援)

3 組 織（令和8年度）

(1) 職員の現員調（令和8年4月1日現在）

単位(人)

区 分	館 長	副館長	課 長	主 幹	専任主幹	専門主幹	副主幹	主 査	専門主事	主任主事	主 事	社会教育主事
現員25	1	1	2	2	1	1	4	3	2	2	4	2

(2) 組織及び分掌事務（令和8年4月1日現在）

単位（人）

名誉館長 伊藤 一彦 館 長 海野 由憲 副館長 清家 智子	総務・企画課 14	総務担当 4	・予算編成・執行・決算、物品調達・検査、歳入 ・庁舎管理(施設・設備営繕、環境整備、施設利用等)、防火・防災、公用車管理、備品管理、書庫増設計画
		企画担当 3	・施策・事業の総合的調整、図書館評価、図書館協議会 ・図書館広報及び各種情報発信、図書館情報システム等の運営管理 ・職員研修、図書館実習・職場体験学習等
		資料管理担当 6	・資料の総合管理(収集・保存・活用・除籍・製本) ・購入資料・逐次刊行物・寄贈資料の選定・受入
	情報提供課 37	普及支援担当 7	・市町村立図書館(室)及び学校図書館等連携・支援 ・県公共図書館連絡協議会、公共図書館等調査統計 ・やまびこ文庫、BM書庫管理・活用、マイラインサービスの運営・普及
		郷土情報担当 5	・地域資料、貴重資料の収集・保存・整理・活用 ・県地方史講座(文化講座・古文書講座) ・宮崎県地方史研究連絡協議会
		情報提供担当 24	・児童図書室・閲覧室・書庫の運営管理 ・レファレンスサービス、相互貸借 ・高齢者・障がい者サービス

4 令和8年度当初予算

(歳入)

科 目	予 算 額 (千円)	説 明
財産収入	1,405	
財産運用収入	1,405	
財産貸付収入	1,405	
公募型財産貸付料	1,405	県立図書館自動販売機設置貸付料
繰 入 金	6,596	
基金繰入金	6,596	
産業廃棄物税基金繰入金	1,254	
産業廃棄物税基金	1,254	リサイクル活動資料整備
県有施設維持整備基金繰入金	5,342	
県有施設維持整備基金	5,342	基本運営費
諸 収 入	829	
雑 入	829	
雑 入	829	
雑 入	829	電子複写及び電気・水道使用料
合計	8,830	

(歳出)

事 業 名	予算額(千円)
図書館費	100,233
管理運営費（庁舎の維持管理に要する経費）	100,000
図書館協議会（図書館協議会の運営に要する経費）	233
図書館サービス推進費	179,945
県民の読書を支える図書館づくり事業 （図書、新聞、雑誌、視聴覚資料等の購入に要する経費等）	48,576
図書館サービス費 （資料の提供、調査相談業務及びコンピュータ運用に要する経費等） インターネット通信事業（インターネット通信に要する経費） みどりの図書館づくり推進事業 （自然や環境に関し、特色ある図書館づくり推進に要する経費）	130,851
A V活動推進費（A V機器の管理、緑陰コンサート等に要する経費）	46
図書館ネットワーク推進事業 （市町村図書館支援のための派遣旅費、レファレンス研修に要する経費）	472
郷土資料調査研究事業推進費	9,859
史料刊行費（史料・研究紀要の刊行に要する経費）	4,234
郷土資料調査・研究員報酬等 （郷土資料の調査・研究に係る会計年度任用職員人件費等）	5,625
合 計	290,037

5 令和7年度施設の維持管理

(1) 消防設備修繕	書庫内の煙感知器、非常誘導灯、閲覧室の自動火災報知設備の発信機の不良箇所 の修繕を行った。
(2) 自動ドア修繕	南正面玄関入口の消耗部品を交換した。
(3) 空調設備修繕	大型吸収冷温水機の真空系と電装系並びに防錆塗装等の修繕を行った。（2025 年に燃焼系の修繕交換済み）
(4) 外床洗浄	エントランスホール正面入口左右の外床面と北入口付近の外床面特殊洗浄を行 った。

6 令和8年度事業計画

読む…………貸出サービス等

●個人貸出(紙の本)

1人10冊まで 児童図書室は5冊まで	14日以内
-----------------------	-------

障がい者の方への「無料宅配サービス」、一般の方への「有料宅配サービス」も行っています。
「ひなた電子図書館」の電子書籍の貸出は1人3点まで、14日以内です。

●県立図書館ネットでお取り寄せサービス

ご自身でパソコンやスマートフォン等から直接予約し、お住まいの市町村立図書館で受取や返却ができます
--

●図書館ネットワーク

宮崎県内図書館横断検索 インターネットで、読みたい本を県内のシステム参加図書館の蔵書から検索できます
県立図書館の本お取り寄せサービス(マイラインサービス) インターネットで県立図書館の蔵書を検索し、居住している市町村立図書館(室)を通じて借りることができます
相互貸借 国立国会図書館の総合目録システム等から県立図書館に所蔵のない本を借りることができます

●団体貸出

やまびこ文庫 市町村の図書館(室)やへき地の学校、特別支援学校等を対象とした書庫の資料貸出・配本
団体文庫 読み聞かせボランティア団体等を対象にした貸出

見る・聴く……………映写会・コンサート・おはなし会等

●視聴覚事業

図書館シアター 名作や人の生き方を考える映画を鑑賞する上映会	8/5(水)・9/9(水) 12/9(水)
子ども映写会 子ども達の夢を育て、情操教育を支援する映写会	5/23(土)
緑陰コンサート 生演奏やレコード音楽を楽しむコンサート	6/21(日) 10/31(土)
メモリアル宮崎～郷土を知ろう～ 16ミリフィルムに記録されている昭和の宮崎県の出来事等を鑑賞する上映会	2/10(水)

●読書活動関連事業

おはなし会 子どもたちを対象とした絵本等の読み聞かせ	火曜日(14:00～14:30) 水曜日(15:00～15:30) 土曜日(15:00～16:00) ただし、祝日は開催しません。
--------------------------------------	--

* 各種イベントのタイトルは仮題です。
また、年度途中で内容や予定に変更が生じる場合があります。

学ぶ……………講座・特別展示等

●宮崎県文化講座 (いずれも13:30～15:30)

「岩切章太郎の観光開発再考 —ブリコラージュの視座から—」 講演者: 渡辺一弘氏(宮崎民俗学会員)	9/26(土)
「38年間の枇榔島調査で得られた事 —主にカンムリウミスズメを中心に—」 講演者: 中村豊氏(宮崎野生動物研究会員)	10/24(土)
「宮崎の神楽について —神楽文化の心にふれて—」 講演者: 那賀教史氏(宮崎民俗学会長)	11/21(土)

●古文書講座 (いずれも13:30～15:00)

本館所蔵の県内関係の古文書を教材にして古文書の読み方を学びます	6/6(土)・7/4(土) 8/1(土)・9/5(土)
---------------------------------	--------------------------------

●特別展示

1	企画展 「ふるさと宮崎を知る—宮崎県立 図書館収集の地域資料—」	9/19(土) ～10/18(日)
2	特別展「杉田文庫関連展示 日向俳壇と杉田文庫」	11/7(土) ～12/6(日)
3	共催展「遺跡発掘成果展」	2/17(水) ～3/7(日)

相談する……………レファレンスサービス・相談会等

●レファレンスサービス

質問や相談を受けて、図書館職員が参考となる本の紹介や情報提供を行うサービス (閲覧室4番カウンター及び電話・FAX・メール等で受付)
--

●各種無料相談会

健康相談会(まちの保健室) 宮崎県看護協会による心身の健康に関する無料相談会	毎週土曜日 (第5以外)
サポステ図書館出張 地域若者サポートステーションによる就職に関する無料相談会	毎月第4水曜日
法律相談会 宮崎県司法書士会による法律に関する無料相談会	毎月第2金曜日 ※8月・1月は実施なし
不動産相談会 ・宮崎県不動産鑑定士協会による不動産に関する相談会 ・宮崎県不動産鑑定士協会による講演会	4/18(土) 10/10(土)

楽しむ……………その他イベント・展示等

●自主企画展示

こどもの読書週間企画展 「記憶のたからばこ ～世代をつなぐこどもの本～」 期間中、絵本や児童書の展示のほか、特別おはなし会などを行います	4/21(火)～5/10(日)
秋の読書週間企画展 秋の読書週間に関連する企画展示を行います	10/27(火)～11/8(日)
当館自主企画展 「視聴覚コレクション展」	2/9(火)～2/14(日)

●ギャラリー展(令和8年度計画) 県政の重点施策情報発信事業、主催・共催事業 *主催◎ 共催○

1	4/8 (水) ~ 4/19 (日)	・『再造林』パネル展 ～豊かな森林を未来に残すために～ ・ふるさとの水辺発表会
2	4/21 (火) ~ 5/10 (日)	◎こどもの読書週間企画展「記憶のたからばこ ～世代をつなぐこどもの本～」
3	5/13 (水) ~ 5/24 (日)	・自転車マナーアップ強化月間企画展 ・消費生活啓発パネル展 ～こんなのアリ！？と思ったら・・・ あきらめないでまず相談！～
4	5/27 (水) ~ 6/7 (日)	・令和8年度土砂災害防止月間パネル展 ～備えよう！助かる命を守るために～ ・思春期こころの健康
5	6/10 (水) ~ 6/21 (日)	・みどりの特別企画展 ～6月は環境月間です！～ ・みやざき食品ロス削減パネル展
6	6/24 (火) ~ 7/5 (日)	・男女共同参画パネル展
7	7/8 (水) ~ 7/20 (月・祝)	・統計グラフコンクールの作品展 ～グラフで見ると新たな発見～ ・みやざきの農業遺産
8	7/23 (木) ~ 8/2 (日)	・農畜水産業の技術最前線 ～最新の研究をわかりやすくご紹介～
9	8/5 (水) ~ 8/16 (日)	・平和祈念資料展 ～知ることから始めよう、平和への第一歩～ ・アメリカ宮崎県人会創立50周年記念式典 ～県人会の歩み～
10	8/19 (水) ~ 8/30 (日)	・日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展 ～いよいよ開催まであと1年。ひなたのチカラ拡大中～
11	9/2 (水) ~ 9/13 (日)	・健康づくり普及啓発パネル展 ～知ろう、考えてみよう、健康のこと～ ・宮崎の古墳文化パネル展 ～世界遺産登録を目指して～
12	9/25 (金) ~ 10/4 (日)	○宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展
13	10/6 (火) ~ 10/12 (日)	・NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟」全国巡回展
14	10/15 (火) ~ 10/25 (日)	・安全で安心なまちづくり旬間企画展 ・美しい宮崎づくりパネル展
15	10/27 (火) ~ 11/8 (日)	◎秋の読書週間企画展
16	11/11 (水) ~ 11/23 (月・祝)	・ひなたゼロカーボン 2050 ギャラリー展 ～未来の地球のために、今できることを考えよう～ ・犯罪被害者支援に関する企画展 ～被害者支援について考えよう～
17	11/26 (木) ~ 12/6 (日)	・シニアパワー宮崎づくり企画展 ～創ろう シニアパワーで 新しいみやざき～ ・里親普及促進・児童虐待防止推進キャンペーン
18	12/9 (水) ~ 12/20 (日)	・人権啓発パネル展 ～思いやりの心で 豊かな人間関係を～ ・ご存じですか、高次脳機能障がい ～頭のケガや病気の後から起こる後遺症～
19	12/22 (火) ~ 12/27 (日)	・私とみんなの共生社会シンポジウム 展示の部 ○法テラス関連企画展
20	2/9 (火) ~ 2/14 (日)	◎当館自主企画展「視聴覚コレクション展」
21	2/17 (水) ~ 2/28 (日)	・サイバー犯罪防止パネル展 ・労働問題でお困りの方へ ～労働委員会に相談してみませんか？～
22	3/3 (水) ~ 3/14 (日)	・県民との協働パネル展 ・NOSAI「宮崎の農業・農村」写真展
23	3/17 (水) ~ 3/28 (日)	・みやざきの「ひと」 ～みやざきの「昔」から「今」へ～ ・「外国人が見た宮崎」作品展

【第2部】

1 資料概要

図書館資料の整備に当たっては、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、各分野の専門の方々の意見も参考にしながら、県立図書館としての資料充実に努めている。

特に、市町村図書館等との役割を踏まえた収集、学校教育援助のための収集、郷土資料の充実、子どもの読書活動推進のための収集、自然や環境及び本県の産業に関する特色ある図書館づくりのための収集、地域や社会人支援のための収集に重点的に取り組んでいる。

(1) 配架別・分類別資料数（令和8年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	閲覧室	児 童 図書室	書 庫	BM書庫	視聴覚 資 料	その他	合 計	割合(%)
0 総 記	8,274	895	43,502	903	385	468	54,427	6.3%
1 哲 学	4,517	314	21,199	1,068	112	3	27,213	3.1%
2 歴 史	13,805	1,612	59,401	2,593	908	359	78,678	9.1%
3 社会科学	23,883	2,679	160,140	5,267	2,434	380	194,783	22.5%
4 自然科学	13,234	3,860	48,134	6,110	1,134	24	72,496	8.4%
5 技 術	11,558	1,653	45,370	4,860	772	24	64,237	7.4%
6 産 業	10,451	878	41,363	2,000	557	8	55,257	6.4%
7 芸 術	10,242	2,841	47,795	4,597	7,576	293	73,344	8.5%
8 言 語	3,129	619	10,400	1,157	146	44	15,495	1.8%
9 文 学	26,618	18,792	145,204	38,140	374	66	229,194	26.5%
計	125,711	34,143	622,508	66,695	14,398	1,669	865,124	100%

(2) 資料購入の推移

単位（購入数：冊、金額：千円）

年度 区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額	購入数	金 額
図 書	9,465	34,779	10,318	35,091	9,101	36,549	8,437	36,689	9,420	33,578
逐次刊行物	3,544	5,792	3,553	5,881	3,506	6,304	3,525	6,201	3,446	5,985
A V 資 料	22	734	25	779	20	747	21	765	26	618
電子図書館資料							4,764	43,670	2,585	22,577
計	13,031	41,305	13,896	41,751	12,627	43,600	16,747	87,325	15,477	62,758

(3) 貴重資料（令和8年3月31日現在）

No.	文書名	文 書 の 概 要
1	阿萬文書	「尚友堂日記（阿萬豊蔵日記）」、恒久村・吉村の境界争い関係図など129点の文書 ※ 阿萬豊蔵（1809－76）安井息軒に師事し、江戸の昌平黉に学ぶ。帰国して飢肥藩清武郷役人を務める。
2	島津文書	「佐土原藩史」、「武家敵制録」、「鶴城譜略」、「御誕生記」など佐土原藩の藩政関係の文書141点
3	桑原文書	「佐土原藩譜」、「維新事蹟」、「御軍記」巻1～5などの43点の文書 ※ 桑原家：旧佐土原藩士
4	松尾文書	「歴代公用日記」、「桜島噴火記」、「忠将公御記」などの筆写本24点 ※ 松尾宇一（1886－1963）郷土史家

5	日高文書	「船中道中日記（児玉実行）」、地券、借用書など 92 点の文書 ※ 日高家：旧佐土原藩の郡方役人
6	内藤家文書	内藤家文書を石川恒太郎氏が翻刻したもの 4 点 ※ 石川恒太郎（1900－90）地方史研究家
7	小寺文書	飢肥藩楮紙仕立てに関する一件書類、「宮崎大島組大庄屋各村人別帳」など 47 点の文書 ※ 小寺鉄之助：郷土史研究家
8	新穂家文書	「新穂禎蔵書簡」、土地売渡証文など 7 点の文書。 ※新穂家：都城市高城町
9	辰己屋文書	藩からの酒造の申渡書・勘定書・証文や藩役人にあてた御請書など 33 点の文書 ※ 辰己屋：日向国那珂郡江田村（宮崎市）の酒造家
10	児玉日誌	明治 20（1887）年から昭和 11（1936）年までの日記史料 49 点 ※ 児玉伊織（1867－1936）明治 32 年宮崎町長、明治 44 年から昭和 6 年まで宮崎県会議員を務めた。
11	一木文書	昭和 30（1955）年に写された江戸時代の関孝和系和算書 25 点
12	正念寺文書	寛文 6 年の「延岡藩中宗門改帳」や「稲津掃部合戦記写本」、「鹿児島県地誌略」など 18 点の文書 ※ 正念寺：延岡藩高千穂郷田原（高千穂町）
13	三ヶ所村役場文書	宝暦期の「佐藤信安日記」、享保期の「二又村春秋御銀調帳」ほか 13 点の文書 ※ 西臼杵郡三ヶ所村役場および桑之内村役場（両村とも五ヶ瀬町）旧蔵
14	佐土原藩島津文書	領地目録、宣旨、口宣案、安堵状など 214 点の文書 ※ 佐土原藩島津家の文書
15	佐土原藩嶋津家日記	江戸時代の佐土原藩の在所と江戸で書かれた日記 571 点 ※ 佐土原藩に関する日記
16	高鍋藩本藩実録	「高鍋藩本藩実録」、「続本藩実録」、「続々本藩実録」など 53 点の文書 ※ 大正 14（1925）年に筆写された高鍋藩藩政資料の写本
17	大雄寺文書	江戸中期から明治後期までの大雄寺関連の過去帳 20 点 ※ 大雄寺：東臼杵郡美郷町西郷田代にある寺
18	青山文書	文久 2（1862）年「日州佐土原御検地名寄帳」と万延元（1860）年「日州佐土原御検地竿扱帳写」の 2 点 ※ 鹿児島藩主導で行われた検地
19	嶠南文庫	「康熙字典」、「西国盛衰記」、「古簡雑纂」、「日向纂記」、「嶠南日記」など 590 点の文書 ※ 平部嶠南（1815－90）幕末期の飢肥藩の学者・家老
20	秋月文書	「秋月種長家譜」、「秋月家御一門之覚」、「秋月家旧記」など 52 点の文書 ※ 高鍋藩秋月家の文書
21	佐土原藩島津家文庫	佐土原藩島津家の藩主が使用した御手許本を含む江戸時代から明治時代にかけての和漢籍 992 点
22	杉田文庫	「賦何人連歌」、「朗詠詩俳諧両吟」、「松尾芭蕉肖像」、「夏目漱石俳句短冊」など約 6,000 点 ※ 杉田直氏、正臣氏 2 代にわたって収集された俳諧関係資料
23	古典籍類 ※島津家文庫を除く	「大日本史」、「成形図説」、「春秋左氏伝」、「資治通鑑」など約 5,000 点 ※ 公的機関・大名家・個人から収集した古典籍

これらの蔵書の中には置県 100 年を記念して寄贈された「杉田文庫」の医書の古刊本や江戸時代後期の城ヶ崎俳壇の俳諧資料など約 12,000 点も含まれている。
また、貴重書庫には「佐土原藩嶋津家日記」や「嶠南文庫」などの古文書約 2,000 点も保存している。

日高文書から「日向国臼杵郡椎葉山絵図」の一部



(4) 資料整備状況

① 資料受入（令和8年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	令和7年度受入資料数	総 資 料 数
図 書（A）	11,707	783,654
逐次刊行物（B）	4,764 新聞45種・雑誌433種	63,299
A V 資料（C）	75	18,171
合計（A+B+C）	16,546	865,124

② 資料受入区分別・分類別資料数（令和8年3月31日現在）

単位（冊）

区 分	購 入	寄 贈	編 入	所管換	数量更正	生 産	弁 償	寄 託	その他	合 計
0 総 記	996	202			51	54			1	1,304
1 哲 学	319	29					1			349
2 歴 史	899	210	2			10	3			1,124
3 社会科学	2,625	1,232	7		54	53	10		5	3,986
4 自然科学	1,323	237	1		1		10			1,572
5 技 術	1,205	257	6				4			1,472
6 産 業	756	350	4		2	8	3			1,123
7 芸 術	1,444	191	2		1		13		12	1,663
8 言 語	293	23								316
9 文 学	3,032	532	3			3	67			3,637
計	12,892	3,263	25		109	128	111		18	16,546

(5) 保存資料(マイクロフィルム)の所蔵状況（令和8年3月31日現在）

単位（点）

種 別	巻 数	種 別	巻 数
内藤家文書	1,680	その他の古文書	221
佐土原藩嶋津家日記	69	宮崎日日新聞	1,091
佐土原藩嶋津家江戸日記	143	宮崎新報 他	307
島津文書	50		
出北村文書	120		
矢津田家文書	74	合 計	3,755

(6) 貴重書デジタルアーカイブ

当館に収蔵されている佐土原藩島津家文書、嶋南文庫などの貴重資料について、デジタル化を進めて、順次デジタルアーカイブで公開している。令和7年度は77点、6,685コマを公開した。（令和8年3月31日現在）

電子化終了 点 数	公開して いる点数	令和7年度 アクセス数
4,404点 約20万コマ	1,296点 約7万コマ	2,505件



2 事業実績

(1) 利用事業（団体等貸出を含む）

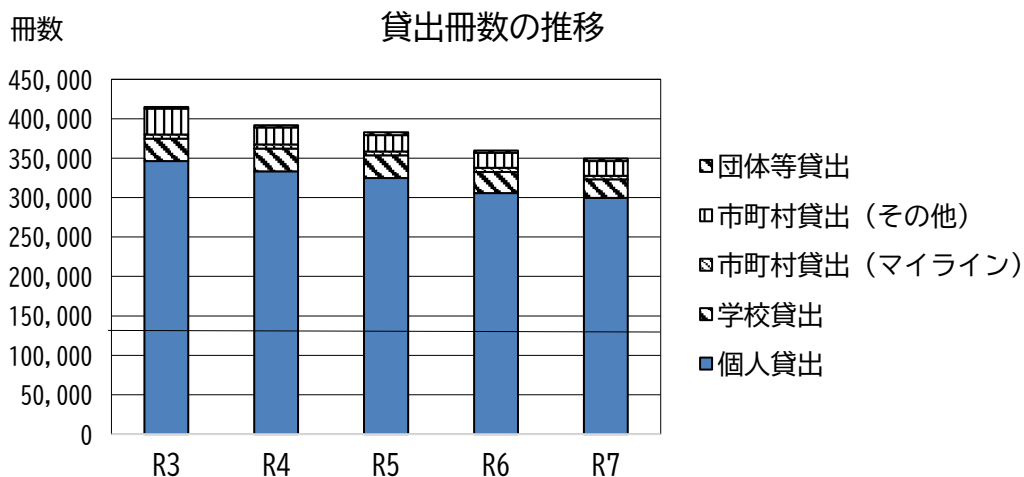
① 年度別貸出利用状況の推移

単位（冊）

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸出冊数 (冊)	個人貸出 (1開館日当たり)	346,176 (1,170)	333,479 (1,119)	324,815 (1,105)	305,916 (1,073)	299,614 (1,026)
	A マイライン	5,084	5,196	5,059	5,175	4,247
	B 子育て支援図書セット	1,170	1,080	900	930	930
	やまびこ 文庫	C 町村支援	10,950	11,690	11,160	10,890
		D 学校支援	28,710	28,610	28,635	26,715
		E 大量貸出支援	14,608	2,387	1,069	702
		F 児童教育施設等支援	3,577	4,432	5,704	4,860
	G セット文庫	2,650	2,201	1,879	1,650	1,511
	H 団体貸出	2,082	2,906	3,511	2,963	3,349
	I 視聴覚資料団体貸出	21	23	28	18	25
	合 計	415,028	392,004	382,760	359,819	350,018

* A～Iの事業について

- A …県立図書館の資料を居住している市町村立図書館・室を通して予約・借受できるシステム
- B …町村の図書館・室を対象に育児書や幼児用絵本のセットを貸し出す事業（4か月間、1セット30冊、年3回）
- C …町村の図書館・室を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（4か月間、500冊まで、年3回）
- D …町村立小・中学校（へき地指定校のうち1級地以上）及び県立特別支援学校等を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（4か月間、500冊まで、年3回）
- E …市町村図書館・室を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（1年間、1,000冊まで）
- F …県内の児童教育施設等を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（2か月間、100冊まで）
- G …町村立図書館・室及び町村立学校・県立特別支援学校を対象に、セット組みした市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業
- H …県内の読書団体を対象に市町村・団体支援用専用資料を貸し出す事業（2か月間、100冊まで）
- I …県内の社会教育団体等を対象に視聴覚資料を貸し出す事業（10日間、5本まで）



② 貸出利用地区別内訳（令和7年度）

単位(冊)

区 分	本館資料	マイライン	やまびこ文庫	セット文庫	団体等貸出	貸出合計
延 岡 市	942(0.3)	172(4.0)	—	—	—	1,114(0.3)
西 臼 杵 郡	50(0.1)	443(10.4)	14,190(35.2)	513(34.0)	270(6.3)	15,466(4.4)
日向市・門川町・ 美郷町・諸塚村・ 椎葉村	712(0.2)	748(17.6)	12,025(29.8)	711(47.0)	360(8.4)	14,556(4.2)
西都市・児湯郡	5,694(1.9)	694(16.3)	1,806(4.5)	—	180(4.2)	8,374(2.4)
宮 崎 市	282,181(94.2)	545(12.8)	8,091(20.1)	—	3,349(78.3)	294,166(84.0)
東 諸 県 郡	3,763(1.3)	178(4.2)	—	—	30(0.7)	3,971(1.1)
小林市・えびの市・ 高原町	1,303(0.4)	354(8.3)	2,100(5.2)	—	90(2.1)	3,847(1.1)
都城市・三股町	1,698(0.6)	558(13.1)	630(1.5)	—	—	2,886(0.8)
日南市・串間市	957(0.3)	555(13.1)	1,500(3.7)	—	—	3,012(0.9)
そ の 他	2,314(0.7)	0(0)	—	287(19.0)	—	2,601(0.7)
合 計	299,614 (100.0)	4,247 (100.0)	40,342 (100.0)	1,511 (100.0)	4,279 (100.0)	349,993 (100.0)

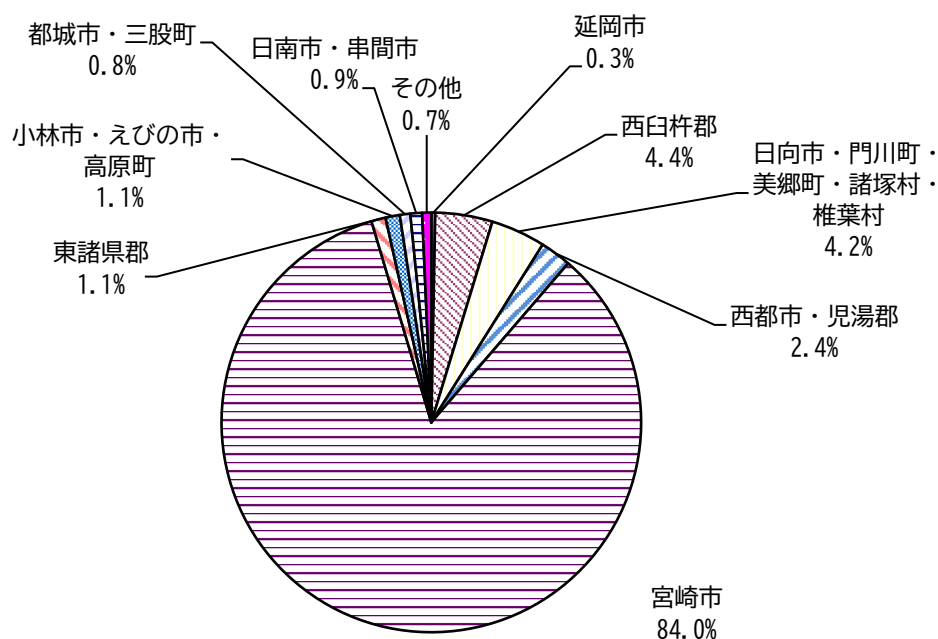
※ () 内はパーセンテージ

※ 団体等貸出には、子育て支援図書セット貸出を含む。

※ 視聴覚資料団体貸出は含まない。

※ セット文庫のその他は学校対象

貸出合計にみる地区別の比率（令和7年度）



(2) 館内利用事業

① 入館者及び貸出利用等

ア 年度別入館者数及び登録者数の推移

年 度 区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開館日数(日)	296	298	294	285	292
入館者数(人) (1開館日あたり)	289,561 (978)	187,141※ -	352,033 (1,197)	373,604 (1,311)	345,140 (1,182)
入館者数累計(人) (昭和63年度以降)	18,258,614	18,445,755	18,797,788	19,171,392	19,516,532
登録者数(人) 累計登録者数(人) (1開館日あたり)	6,015 297,696 (20)	5,868 303,564 (20)	5,823 309,387 (20)	6,316 315,703 (22)	5,811 321,514 (20)

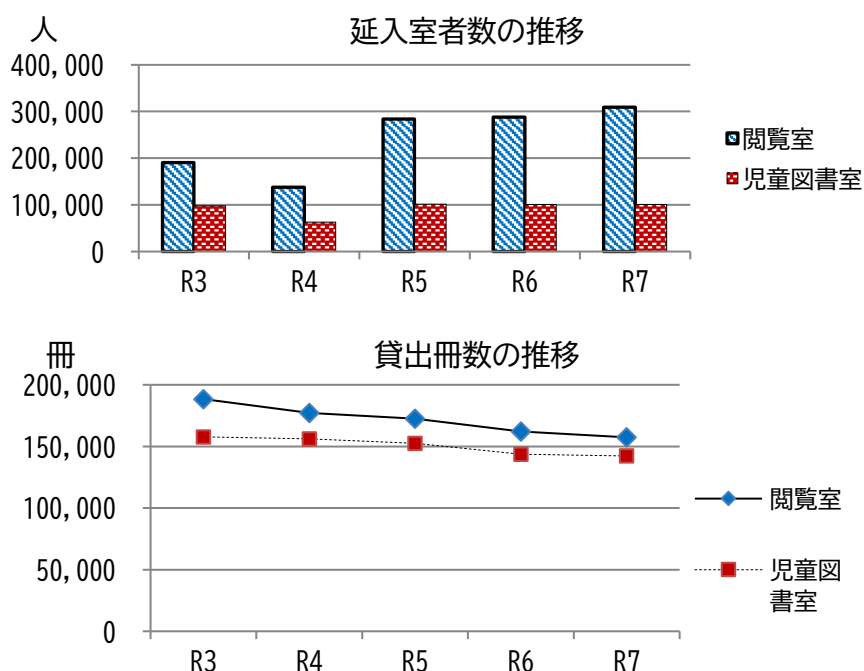
※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度(9月から1月)の入館者数はカウントされていない。

イ 室別延入室者数及び貸出冊数の推移

単位(人・冊)

年 度 区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数	延入室者数	貸出冊数
閲覧室	190,251	188,413	138,023	177,306	284,146	172,387	288,088	162,239	309,475	157,369
児童図書室	97,959	157,763	63,317	156,173	101,575	152,428	100,899	143,677	100,436	142,245
計	288,210	346,176	201,340	333,479	385,721	324,815	388,987	305,916	409,911	299,614
1 平 日 均	974	1,170	-	1,119	1,312	1,105	1,365	1,073	1,404	1,026

※ 入館者カウンターの集計機の不具合のため、令和4年度(9月から1月)の延入室者数はカウントされていない。



ウ 年代別入館者数、登録者数、貸出冊数（令和 7.4.1～令和 8.3.31 開館日数 292 日）

単位（人・冊）

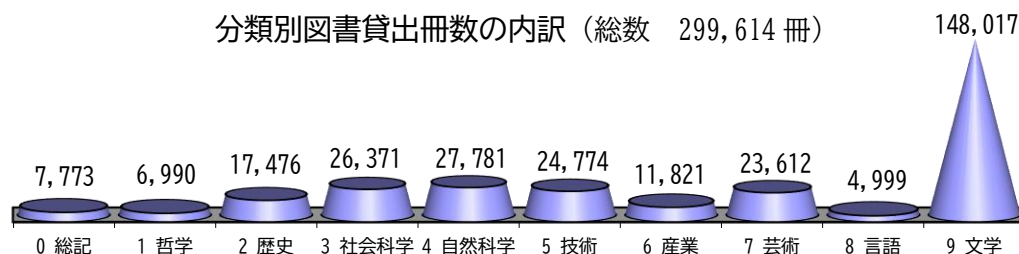
区 分		年 間 登 録 者 数	年 間 貸 出 冊 数	1 日 当 たり 平 均 登 録 者 数	1 日 当 たり 平 均 貸 出 冊 数
利用 者	0 歳～ 6 歳	601	40,477	2.1	139
	7 歳～12 歳	523	41,590	1.8	142
	13 歳～15 歳	112	3,267	0.4	11
	16 歳～18 歳	116	1,427	0.4	5
	19 歳～22 歳	222	3,710	0.8	13
	23 歳～	4,237	209,143	14.5	716
計		5,811	299,614	20	1,026
累 計 （昭和 63 年度以降）		321,514	14,337,331		

エ 分類別図書貸出冊数（令和 7.4.1～令和 8.3.31 開館日数 292 日）

単位（冊）

分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均	分類別	閲覧室	児童図書室	計	一日平均
0 総 記	6,219	1,554	7,773	27	6 産 業	8,724	3,097	11,821	40
1 哲 学	5,934	1,056	6,990	24	7 芸 術	13,701	9,911	23,612	81
2 歴 史	12,997	4,479	17,476	60	8 言 語	3,064	1,935	4,999	17
3 社会科学	20,630	5,741	26,371	90	9 文 学	53,597	94,420	148,017	507
4 自然科学	14,481	13,300	27,781	95					
5 技 術	18,022	6,752	24,774	85	合 計	157,369	142,245	299,614	1,026

分類別図書貸出冊数の内訳（総数 299,614 冊）



オ 相互貸借件数（令和 7.4.1～令和 8.3.31 開館日数 292）

単位（件）

区 分	国立国会図書館借受	県内外図書館借受	県外図書館貸出	計
年 度 令和 7 年度	1	372	142	515

カ AVコーナー資料の利用状況の推移

〈ビデオソフト〉

単位（本）

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
区 分					
利用本数	922	1,341	2,288	1,650	1,976
1 日平均	5	5	7	6	7

キ 読書振興室利用状況（読書団体の利用数）（令和7年度）

単位（件・人）

利用件数	33	利用人数	243
------	----	------	-----

② その他サービス等

ア 調査相談（レファレンス）

利用者からの相談を受け、蔵書資料の紹介や情報の提供により調査・研究を支援するレファレンスサービスを行っている。

また、他館から蔵書を借用して利用に供する相互貸借サービスやコピーサービスなどを行っている。

〈レファレンス件数〉（令和7年度）

単位（件）

区 分	対 面	電 話	F A X	Eメール	文書等	計
件 数	4,826	885	969	145	25	6,850

〈相談事例〉

- ・ 青島にある若山牧水の歌碑にはどこの石が使われているのかを知りたい。
- ・ 一度刈り取った稲が再生したもののことを宮崎では「シッテ」と呼ぶことが分かる資料を知りたい。
- ・ 昭和4年4月末に宮崎県で行われた権藤円立の演奏会に関する新聞記事について知りたい。
- ・ 永六輔が作詞した「フェニックス・ハネムーン」の楽譜が掲載されている資料を知りたい。

イ Y A(ヤングアダルト)サービス

心身ともに大きく成長していく時期のヤングアダルト層（12～18 歳ぐらい）に対して適切な資料と情報を提供し、読書活動の推進と図書館の利用促進を図るため、平成 17 年度から青少年コーナーを設置している。平成 20 年度には書架を増設し、毎年資料の充実を図っている。（図書約 5,700 冊）



青少年コーナー

ウ 児童サービス

○ 読み聞かせ

児童図書室では、こどもと本をつなぐため、図書館職員やボランティア団体による絵本の読み聞かせや紙芝居、ストーリーテリングを行っている。

〈読み聞かせ利用者数〉（令和7年度）

単位(人)

曜 日	実施回数	内 訳		計	1 回当たり
		こども	大人		
火曜日	40	212	232	444	11.10
水曜日	46	232	185	417	9.07
土曜日	94	678	521	1,199	12.76
計	180	1,122	938	2,060	11.44



読み聞かせの様子

○ 子育て支援

児童図書室内に、妊娠、出産、育児、しつけなど子育てに関する図書や雑誌等をまとめた「子育て支援コーナー」を設置し、子育てを支援している。（図書約 350 冊）

エ ビジネス支援サービス

図書館に創業やビジネスを支援する機能を持たせるため、閲覧室内にビジネス情報コーナーを設けて、会社年鑑、各種業界年鑑・名鑑等のビジネス関連図書、ビジネス関連雑誌、企業情報誌、資格取得関連図書等を配架している。

また、経営支援、創業支援等の分野に係る連携の円滑化、地域の活性化と中小企業支援の促進を目的として宮崎県立図書館、宮崎県産業振興機構、宮崎県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）の四者で覚書（平成22年4月1日）を締結し、これまでにビジネス相談会やセミナーを実施した。

現在は令和4年度から、日本政策金融公庫との共催で、県内の高校生及び高等専門学校生が事業計画作成について学ぶことを通して、大学生や社会人としてのプラン作成スキル等を習得することを目的とした「高校生ビジネスプラン・グランプリ ビジネスプラン作成講座」を実施している。

令和6年7月から、若者の就労支援機関である地域若者サポートステーション（以下「サポステ」）との共催で就職に関する相談の場を設け、若者の職業的自立を支援している。また、サポステの相談ブースの隣に「ビジネス支援コーナー」を設置し、職員がビジネスや就職に役立つ図書館資料を提供している。

オ 健康情報サービス

心身の健康づくりに役立つ情報の提供を行うため、2階ロビーに健康情報コーナーを設置し、健康に関するパンフレット・チラシの配架を行っている。また、宮崎大学医学部がん相談支援センターと連携し、平成29年10月から、がん対策に関するパネルの展示やがんの冊子の配架を行っている。

毎週土曜日（第5土曜日を除く）には、宮崎県看護協会の保健師等による健康相談会「まちな保健室」を実施している。

さらに、令和元年度から、心身における健康保持・増進を目指して「声に出して言葉を楽しもう会」を実施している。

- 「声に出して言葉を楽しもう会」の実績

令和7年6月12日（木）	参加者 9人
令和7年9月11日（木）	参加者 10人
令和7年12月3日（水）	参加者 16人
令和8年2月13日（金）	参加者 9人



健康情報サービスコーナー

カ 読書バリアフリー

多様な手段で読書を楽しんでいただくため、閲覧室内に大活字本（大きな活字の本）のコーナーを設置し、貸出をしている。「読む」サポートコーナー内ではマルチメディアデイジー（文章を音声で聞きながらパソコン画面上で絵や写真を見ることができる）、LLブック（写真、絵記号、分かち書きなどを用いた視覚的に分かりやすい本）を貸し出している。また、児童図書室にも「りんごの棚」を設置し、大きな文字の本、LLブックや点字図書など、わかりやすい本やさわわって楽しめる本などを貸し出している。

読書支援機器として、拡大読書器やリーディングトラッカー、拡大鏡などを設置している。



「読む」サポートコーナー（閲覧室）



りんごの棚（児童図書）



拡大読書器（閲覧室）

キ 障がい者等サービス

来館が困難な程度の障がい者を有する方等への無料郵送貸出、視覚障がい者等のための音声録音図書の貸出を平成27年3月から実施している。

- 視覚障がい者等サービス利用登録者

令和7年度（新規）	5人
令和7年度末計	29人
- 視覚障がい者等サービス延べ利用数

令和7年度	683点
-------	------

ク パソコン・データベースコーナーの利用状況

調査・研究のためインターネットやオンラインデータベースが利用できるパソコン・データベースコーナーを閲覧室内に設け、インターネット専用パソコン4台、データベース専用パソコン4台、無線LANと有線LAN共用の持込用パソコン席15席の計23席を用意して、利用者に供している。

〈利用者数〉（令和7年度）

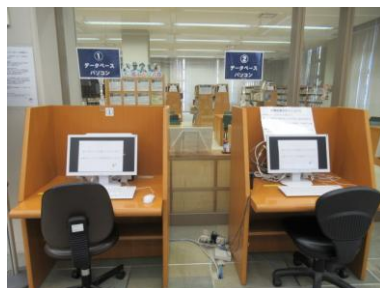
- ・ インターネット専用パソコン 延べ 1,663人
- ・ 持込用パソコン席 延べ 4,690人
- ・ データベース席 延べ 256人

〈当館で利用できる有料データベース〉

データベース名	内 容
宮日データベース	2001 年 4 月以降に掲載された宮崎日日新聞の記事をキーワード検索
宮崎県郷土紙 デジタルアーカイブ	明治 26 年 8 月以降の宮崎県郷土紙を閲覧
官報情報検索サービス	1947 年 5 月 3 日分から当日発行分までの官報の内容を日付やキーワードを指定して検索・閲覧
Westlaw Japan	日本の法令、判例の文献情報を検索
ジャパンナレッジ	70 以上の辞事典、叢書、雑誌を検索
ルーラル電子図書館	『現代農業』や『季刊地域』など、農文協が発行した雑誌や書籍を閲覧
JDreamIII	国内外の科学技術や医学薬学関係の文献情報を検索



インターネット専用パソコン



データベース専用パソコン



持込用パソコン席

ケ 複写サービス利用状況の推移

単位（件・枚）

年 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
件 数	2,749	2,989	2,751	2,577	2,347
枚 数	27,815	25,561	25,076	24,370	26,637

コ 各種相談事業

地域や住民の課題やニーズが多様化し、その解決に当たっては情報提供だけでなく、「人」と「組織」を結びつける積極的な※レフェラルサービスも必要である。その一つとして、各種機関と連携した相談会を実施している。

※ レフェラルサービスとは、他の図書館、行政窓口、専門団体、専門家を紹介するサービスのことである。

○ 法律相談

- ・ 法律相談会（8月を除く毎月第2金曜日） 実施数 6回 参加者数 13名
（5月、7月、12月、2月、3月はキャンセル等のため中止）
- ・ 県下一斉無料相談会
令和8年3月7日（土） 相談者数 100名

○ 不動産相談

不動産無料相談会

- 令和7年4月19日（土） 相談者数 12名 相談件数 13件
- 令和7年10月11日（土） 相談者数 13名 相談件数 16件

○ ランタンのつどい

- 自死遺族の思いの分かち合いの会（毎月第2土曜日）
令和7年度 実施数 12回 参加者数 97名

○ まちの保健室

- 相談者数（令和7年度） 延べ 694人

○ 令和7年度がんサロン

令和7年10月5日（日） 参加者 86 人

○ ビジネス支援におけるサポステ図書館出張（令和6年7月開始、毎月第4水曜日開催）

サポステ図書館出張 相談者数 22 人

ビジネス支援ミニコーナー 相談者数 56 人

(3) 館外利用事業

① やまびこ文庫

やまびこ文庫は、市町村・団体支援用専門資料等を活用することにより、市町村や学校等における読書普及活動及び読書環境整備を支援し、県全体の均衡ある読書環境整備を図ることを目的としている。この事業では、県立図書館から貸出図書を定期配送する支援等を実施している。

ア 定期配送による支援

〈町村支援事業〉

令和7年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
高千穂町	高千穂町立図書館	1,500	美 郷 町	美郷町立西郷図書館	1,500
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	1,500		美郷町立北郷図書館	1,500
諸 塚 村	諸塚村中央公民館図書室	1,200		美郷町立南郷図書館	1,200
日之影町	日之影町立図書館	900	高 原 町	高原町中央公民館図書室	1,500
合 計					10,800

〈学校支援事業〉

令和7年度 貸出冊数

単位（冊）

市町村名	学 校 名	貸出冊数	市町村名	学 校 名	貸出冊数
高千穂町	押方小学校	540	椎 葉 村	椎葉小学校	735
	田原小学校	900		尾向小学校	630
	岩戸小学校	630		不土野小学校	600
	上野小学校	840		大河内小学校	840
	延岡しろやま支援学校高千穂校	450		松尾小学校	450
				椎葉中学校	420
五ヶ瀬町	鞍岡小学校	990	宮 崎 市	明星視覚支援学校	240
	三ヶ所小学校	1,500		赤江まつばら支援学校	360
	坂本小学校	1,500		みなみのかぜ支援学校	750
	上組小学校	540		清武せいりゅう支援学校	600
	五ヶ瀬中学校	450		宮崎海洋高等学校	400
	五ヶ瀬中等教育学校	1,200		宮崎県教育支援センター「コネクト」	420
諸 塚 村	諸塚小学校	360	都 城 市	都城さくら聴覚支援学校	630
	荒谷小学校	400			
日之影町	日之影中学校	750	日 南 市	日南くろしお支援学校	1,500
西米良村	西米良中学校	600	日 向 市	日向ひまわり支援学校	450
美 郷 町	美郷北義務教育学校	900	新 富 町	児湯るびなす支援学校	600
	美郷南学園	840	小 林 市	小林こすもす支援学校	600
合 計					23,615

イ 市町村・団体支援用専用資料での貸出による支援

市町村・団体支援用専用資料の大量貸出により、市町村立図書館・図書室、児童教育施設等を支援した。

〈大量貸出支援事業〉
令和7年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数
都農町	都農町民図書館	606	宮崎市	高岡地区交流センター図書室	210
			合 計		816

〈児童教育施設等支援事業〉

単位(施設・冊)

登録施設数(令和8年4月1日現在)	26	貸出冊数(令和7年度)	5,111
-------------------	----	-------------	-------

② セット文庫

町村立図書館・室及び町村立学校、県立特別支援学校を対象にセット組された資料を貸し出し、読書環境整備や調べ学習を支援した。

令和7年度 貸出冊数

単位(冊)

市町村名	図書館・図書室名	貸出冊数	市町村名	学校名	貸出冊数
美郷町	美郷町立西郷図書館	375	国富町	国富町立森永小学校	109
	美郷町立北郷図書館	336		国富町立八代小学校	11
高千穂町	高千穂町立図書館	239	都農町	都農町立都農南小学校	48
日之影町	日之影町立図書館	40		日之影町立宮水小学校	44
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	234	日之影町	高千穂町立田原小学校	23
合 計		1,511	都城きりしま支援学校		52

③ 子育て支援図書セット貸出

育児書や幼児用絵本などの子育て支援セットを町村の図書館(室)へ貸し出し、子育て支援センターの読み聞かせ活動などに活用してもらうなど、町村立図書館における子育て支援のための取組を支援するとともに、子育て世代による県立図書館資料の利用を推進した。

令和7年度 貸出冊数 930 冊

市町村名	図書館・図書室名	市町村名	図書館・図書室名
高千穂町	高千穂町立図書館	都農町	都農町民図書館
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町教育委員会図書室	美郷町	美郷町立西郷図書館
諸塚村	諸塚村中央公民館図書室		美郷町立北郷図書館
日之影町	日之影町立図書館		美郷町立南郷図書館
高鍋町	町立高鍋図書館	高原町	高原町中央公民館図書室
国富町	国富町立図書館		

④ 団体文庫

単位(団体・冊)

登録団体数(令和8年4月1日現在)	23	貸出冊数(令和7年度)	3,349
-------------------	----	-------------	-------

(4) 図書館ネットワーク事業

遠隔地からでも県立図書館の資料を県内公共図書館・室等を通じて予約し、貸出利用することができる「県立図書館の本お取り寄せサービス(マイラインサービス)」を実施した。

〈令和7年度 貸出状況〉

① 公共図書館・室

単位(冊)

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
宮崎市立図書館	2	都農町民図書館	156
宮崎市立佐土原図書館	43	門川町立図書館	19
都城市立図書館	229	美郷町立西郷図書館	267
都城市立高城図書館	5	美郷町立北郷図書館	91
延岡市立図書館	156	美郷町立南郷図書館	36
延岡市立図書館北方分館	1	高千穂町立図書館	125

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
延岡市立図書館北浦分館	2	宮崎市清武文化会館図書室	11
延岡市立図書館北川分館	2	宮崎市田野地区交流センター図書室	7
日南市立図書館	448	宮崎市高岡地区交流センター図書室	35
小林市立図書館	181	都城市山之口総合センター図書室	3
日向市立図書館	287	都城市山田総合センター図書室	31
串間市立図書館	97	都城市高崎たちばな学び館	6
西都市立図書館	46	高原町中央公民館図書室	59
えびの市民図書館	31	西米良村立図書室	1
三股町立図書館	134	木城町総合交流センターリパリス図書室	77
国富町立図書館	94	諸塚村中央公民館図書室	0
綾てるは図書館	84	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	47
町立高鍋図書館	318	日之影町立図書館	240
新富町図書館	56	五ヶ瀬町教育委員会図書室	32
川南町立図書館	40	小 計	3,499

② 県立学校

単位(冊)

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
県立五ヶ瀬中等教育学校	38	県立福島高等学校	7
県立日向高等学校	0	県立都城泉ヶ丘高等学校	140
県立富島高等学校	0	県立延岡星雲高等学校	11
県立宮崎南高等学校	1	県立高千穂高等学校	8
県立佐土原高等学校	117	県立飯野高等学校	0
県立宮崎商業高等学校	112	県立小林高等学校	83
県立日南振徳高等学校	3	県立延岡商業高等学校	0
県立都城農業高等学校	0	県立宮崎工業高等学校	0
県立宮崎北高等学校	70	県立高鍋農業高等学校	0
県立高鍋高等学校	0	県立本庄高等学校	0
県立宮崎東高等学校	0	県立宮崎海洋高等学校	22
県立妻高等学校	0	県立都城工業高等学校	10
県立日向工業高等学校	1		
県立宮崎西高等学校	59	小 計	682

③ 大学等

単位(冊)

施設名	貸出冊数	施設名	貸出冊数
宮崎大学附属図書館本館	40	宮崎学園図書館	11
宮崎大学附属図書館医学分館	0	宮崎学園高等学校	6
県立看護大学	9	小 計	66

単位(冊)

①～③の合計	4,247
--------	-------

(5) 訪問支援

訪問支援は、市町村図書館・室を対象とした定期訪問と市町村図書館・室や県立学校等からの要請に応じて行う要請訪問に区別している。令和7年度は、下記の27の市町村立図書館(室)を訪問した。また、要請訪問の依頼は2件あった。

〈令和7年度訪問状況〉

① 定期訪問

期日	訪問施設名	期日	訪問施設名
5月27日	木城町総合交流センターリパリス図書室	6月27日	小林市立図書館
	西都市立図書館		小林市立図書館須木分館
5月28日	延岡市立図書館	9月10日	宮崎市立図書館
	延岡市立図書館 北浦分館		きよたけ児童文化センター図書室
	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	9月17日	諸塚村中央公民館図書室
6月3日	都城市山之口総合センター図書室		五ヶ瀬町教育委員会図書室
	日向市立図書館	9月25日	美郷町立南郷図書館
6月5日	国富町立図書館		美郷町立西郷図書館
	日南市立図書館	10月8日	清武文化会館図書室
	日南市立北郷図書館		宮崎市立佐土原図書館
6月12日	都城市立図書館	10月16日	都城市高崎たちばな学び館
	都城市立高城図書館	10月17日	川南町立図書館
6月17日	門川町立図書館	10月27日	西米良村立図書室
6月23日	都農町民図書館		

② 要請訪問

期日	要請依頼施設名	要請内容
8月7日	みやざき中央支援学校	蔵書の除籍基準等
10月30日	美郷町立北郷図書館(3館合同)	本の修理

(6) アドバイザー派遣

各図書館・室の要望に応え県立図書館職員を講師として派遣した。

〈令和7年度派遣状況〉

派遣日	希望館・室	派遣メニュー
9月1日	西都市立図書館	学校支援のヒント(電子図書館の利活用等)
9月17日	三股町立図書館	資料の収集・除籍等について
9月22日	日南市立図書館	高齢者サービス(音読・朗読教室の計画・実施・運営)
9月29日	日之影町立図書館	学校支援のヒント(電子図書館の利活用等)
9月30日	椎葉村図書館「ぶん文 Bun」	地域資料・行政資料の収集・保存の意義と活用
10月1日	小林市立図書館	ブックピクニックの運営方法について
10月6日	日向市立図書館	資料の収集・除籍等について
10月6日	宮崎市高岡地区交流センター図書室	学校支援のヒント(電子図書館の利活用等)
10月8日	宮崎市立佐土原図書館	高齢者サービス(音読・朗読教室の計画・実施・運営)
11月10日	綾てるは図書館	資料の収集・除籍等について
11月12日	都城市立図書館	Web情報を活用したレファレンス
11月27日	都農町民図書館	学校支援のヒント(電子図書館の利活用等)
12月5日	延岡市立図書館	地域資料・行政資料の収集・保存の意義と活用
12月5日	延岡市立図書館北方分館	高齢者サービス(音読・朗読教室の計画・実施・運営)
1月26日	新富町図書館	高齢者サービス(音読・朗読教室の計画・実施・運営)
1月29日	川南町立図書館	地域資料・行政資料の収集・保存の意義と活用

(7) 視聴覚事業

視聴覚資料等の登録団体等への貸出、及びこれらを利用した映写会・講座等を実施した。

① 視聴覚資料等貸出利用状況 単位（貸出本数：本、利用回数：回、利用者数：人）

令和7年度	視聴覚資料			機 器		
	貸出本数	利用回数	利用者数	貸出件数	利用回数	利用者数
合 計	25	24	281	17	19	723

② 視聴覚行事

〈映写会〉

子どもたちの情操教育や県民の生涯学習に役立てるため、子ども向けと大人向けの映写会を実施した。

ア 図書館子ども映写会

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	5月24日(土)	「にじいろのさかな」「にじいろのさかな ししまをたすける」	58
合 計			58

イ 図書館シアター

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	7月26日(土)	「甲子園：フィールド・オブ・ドリームス」	28
2	8月20日(水)	「あの日、僕らは戦場で -少年兵の告白-」	43
3	10月15日(水)	「52ヘルツのクジラたち」	60
4	12月10日(水)	「星に語りて～Starry Sky～」	40
合 計			171

〈メモリアル宮崎～郷土を知ろう～〉

これまでの宮崎県の歩みを知り、興味をもつきっかけになるよう、本館所蔵の郷土に関する貴重な16ミリフィルムの上映会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	9月24日(水)	「宮崎県政だより NO.3」	9
2	1月28日(水)	「動く図書館『やまびこ』」	10
合 計			19

〈緑陰コンサート〉

様々な演奏団体等を招き、解説などを交えた演奏会を実施した。

回	期 日	上 映 作 品 名	参加者(人)
1	6月22日(日)	レコードコンサート 「『今』聴きたい 懐かしのレコード」	44
2	11月1日(土)	音楽と読み聞かせのコンサート	216
合 計			260



レコードコンサートの様子



生演奏コンサートの様子

(8) ひなた電子図書館

貴重書デジタルアーカイブに加え、非来館型サービスの一環として、令和6年9月から電子書籍サービス（LibrariE・KinoDen）、令和7年3月からデジタル宮崎県史の運用を開始した。

① 電子書籍サービス（電子図書館サービス拡充事業）

ア 電子図書館資料数・利用状況（学校利用数は LibrariE のみ）（令和8年3月31日現在）

区 分		令和7年度	
		総 数	うち学校利用数
LibrariE	資料（点）	3,190	
	貸出（回）	61,755	58,579
	閲覧（回）	405,310	391,502
	利用者（人）	22,423	19,918
Kinoden	資料（点）	3,689	
	閲覧（回）	12,487	
合 計	資料（点）	6,879	
	閲覧（回）	417,797	

イ 電子図書館分類別資料数

単位（点）

区 分	LibrariE	KinoDen	合 計	割合（％）
0 総 記	142	289	431	6.27
1 哲 学	92	235	327	4.75
2 歴 史	169	338	507	7.37
3 社会科学	318	805	1,123	16.33
4 自然科学	448	409	857	12.46
5 技 術	217	451	668	9.71
6 産 業	115	347	462	6.71
7 芸 術	295	317	612	8.89
8 言 語	140	248	388	5.64
9 文 学	1,092	212	1,304	18.96
E 絵 本	161	0	161	2.34
オーディオ	1	38	39	0.57
合 計	3,190	3,689	6,879	100.00

② 貴重書デジタルアーカイブ

※（12）郷土資料調査研究事業の項目③を参照

③ デジタル宮崎県史（『宮崎県史』デジタルアーカイブ）

※（12）郷土資料調査研究事業の項目④を参照

④ 広報活動

令和8年3月3日（火）～8日（日）1階ギャラリーで「ひなた電子図書館」の企画展を実施した。PCでのひなた電子図書館の体験コーナー、実際の蔵書の紹介、どのような本が読まれているかのランキング等を展示した。

(9) 閲覧室内展示

① 特設展示コーナー

閲覧室入口近くにコーナーを設け、各担当が掲げたテーマに関する書籍の紹介を行った。

回	期 間	特設展示コーナー内容	担 当
1	4月 1日 ～ 5月 6日	今年は昭和100年	企画
2	5月 7日 ～ 6月 2日	谷川俊太郎さんが遺した言葉	普及支援
3	6月 3日 ～ 6月 30日	ふるさとの風景と野生動物や虫たち	郷土情報
4	7月 1日 ～ 8月 4日	蔦屋重三郎が駆け抜けた江戸	情報提供
5	8月 5日 ～ 9月 8日	あのころのベストセラー ～昭和元年から昭和64年～	資料管理
6	9月 9日 ～ 10月 6日	平部嶺南と『日向地誌』	郷土情報
7	10月 7日 ～ 11月 10日	祝全国図書館大会第111回 トリプルワンプロジェクト 郷土の歌人 若山牧水と岩城島（愛媛県）	郷土情報
8	11月 11日 ～ 12月 15日	「介護の日」×「みやぎ犬の発見日」	企画
9	12月 16日 ～ 1月 19日	箱展	資料管理
10	1月 20日 ～ 2月 24日	大人の学び直し	情報提供
11	2月 25日 ～ 3月 31日	県立図書館の町村支援と学校支援 ～やまびこ文庫～	普及支援

② 産廃基金コーナー

宮崎県産業廃棄物税基金を活用して収集した環境関連の資料をコーナー展示している。



産廃基金コーナー

③ 企画展示コーナー

月ごとに図書館司書がテーマを設定し、それに合った選書をしている。テーマは、時節に合わせたもの（例：大阪・関西万博、デフリンピック）や社会の動きに合わせたもの（例：芥川賞、直木賞、本屋大賞）にしており、貸し出しも多い。

さらに、書庫にある児童文学と絵本を展示しているコーナーもある。書庫の児童文学や絵本は、児童室の貸し出し5冊に含まれないことから、たくさん本を借りたい利用者の利用が多い。また、児童室が閉館する17時以降の利用も多い。

このほか、新着資料コーナー横では、図書館司書や名誉館長のおすすめ本をポップや解説文とともに展示し、貸し出しを行っている。

④ 博物館との連携展示

博物館が主催する夏と秋の特別展に合わせて関連展示を行った。

期 間	展示コーナー内容
4月 22日 ～ 5月 18日	第45回SSP展
7月 15日 ～ 9月 7日	ティラノサウルス博2025
10月 15日 ～ 11月 16日	特別展「焼酎のすゝめ」



ティラノサウルス博2025の展示風景

(10) 関係機関と連動した情報発信事業

- ① 県立図書館ギャラリー展（県政の重点施策情報発信事業）
県及び国等の関係機関と社会教育機関である県立図書館が、互いに有する資産（人・物・施設）を連動させ、企画展やセミナー、相談会などを開催している。



節	〈令和7年度実績〉◎主催 ○共催 合計 36 事業	期日
1	ふるさとの水辺発表会(環境管理課)、みやぎき食品ロス削減パネル展(循環社会推進課)	4/9～4/20
2	◎こどもの読書週間企画展	4/22～5/11
3	自転車マナーアップ強化月間企画展(生活・協働・男女参画課)、消費生活問題啓発パネル展(同左)	5/14～5/25
4	河川愛護ポスター展&安全な水辺活動の推進(河川課)、令和7年度「土砂災害防止月間パネル展」(砂防課)	5/28～6/8
5	思春期こころの健康(障がい福祉課)、みどりの特別企画展(環境森林課)	6/11～6/22
6	NHK 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」全国巡回展	7/1～7/6
7	森林・林業にふれてみませんか！(森林経営課)、企業局のゼロカーボン社会づくりの取り組み(企業局総務課)	7/9～7/21
8	ご存じですか、高次脳機能障がい(障がい福祉課)、世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域(農政企画課)	7/24～8/3
9	戦後 80 年平和祈念資料展(指導監査・援護課)	8/6～8/17
10	農畜水産業の技術最前線(農業普及技術課)	8/20～8/31
11	令和7年国勢調査パネル展(統計調査課)、健康づくり普及啓発パネル展(健康増進課)	9/3～9/15
12	○宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展	9/23～10/5
13	中山間地域をみんなで支える県民運動(中山間・地域政策課)、労働問題でお困りの方へ(労働委員会事務局)	10/8～10/19
14	◎秋の読書週間企画展	10/21～11/9
15	宮崎地域資源ブランドの魅力発信パネル展(中山間・地域政策課) ひなたゼロカーボン 2050 ギャラリー展(環境森林課)	11/12～11/24
16	人権啓発パネル展(人権同和対策課)、シニアパワー宮崎づくり企画展(長寿介護課)	11/27～12/7
17	児童福祉推進キャンペーン(こども家庭課)、犯罪被害者支援について(警察本部犯罪被害者支援室)	12/10～12/21
18	日本のひなた宮崎国スポ・障スポ展(国スポ・障スポ局) 私とみんなの共生社会シンポジウム～展示の部～(特別支援教育課)	1/7～1/18
19	◎視聴覚コレクション展	1/20～2/1
20	宮崎の古墳文化パネル展(文化財課)、サイバー犯罪防止パネル展(警察本部サイバー企画課)	2/4～2/15
20	◎ひなた電子図書館	3/3～3/8
21	みやぎきの「ひと」(みやぎき文化振興課)、宮崎県の職業訓練展(雇用労働政策課)	3/11～3/22

② 県内公共図書館・室における巡回展

ギャラリー展の展示内容について、生活や地域の課題に関わる身近な情報として県内各地に周知するため、平成27年度から希望する公共図書館・室での巡回展示を行っている。

〈令和7年度実績〉 合計 19 館・室 57 事業

	場 所	内 容(期 間)
1	宮崎市立佐土原図書館	令和7年度「土砂災害防止月間」パネル展(5月)、犯罪被害者支援に関する企画展(8月)
		みやぎき食品ロス削減パネル展(11月)、消費者教育巡回パネル展(2月)
2	宮崎市きよたけ児童文化センター図書室	統計グラフコンクール作品展(2月)

	場 所	内 容(期 間)
3	延岡市立図書館	統計グラフコンクール作品展(7月)、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(12月)
4	日南市立図書館 (本館)	森林・林業にふれてみませんか！(4月)、ふるさとの水辺発表会(7月)、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(10月)、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力(1月)、霧島ジオパークの魅力(1月)、宮崎の職業訓練展(2月)
5	日南市立まなびピア図書館	ひきこもり わかる・よりそう・つながるパネル展(7月)、宮崎の古墳文化パネル展(12月)
6	日南市立北郷図書館	宮崎県の職業訓練展(5月)、河川愛護ポスター展&安全な水辺活動の推進(6月)、宮崎の古墳文化パネル展(3月)
7	日南市立南郷図書館	宮崎県の職業訓練展(6月)、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(10月)
8	日向市立図書館	宮崎県の職業訓練展(7月)、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(10月)
9	西都市立図書館	企業局のゼロカーボン社会づくりの取り組み(5月)、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(7月)、ひきこもり わかる・よりそう・つながるパネル展(9月)、宮崎の古墳文化パネル展(11月)
10	えびの市民図書館	霧島ジオパークの魅力&祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの魅力(6月)
11	国富町立図書館	みやぎき食品ロス削減パネル展(5月)、企業局のゼロカーボン社会づくりの取り組み(8月)、ふるさとの水辺発表会(10月)、森林・林業にふれてみませんか！(12月)、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(2月)
12	綾てるは図書館	ご存じですか、高次脳機能障がい(6月)、森林・林業にふれてみませんか！(7月)、消費者教育巡回パネル展(3月)
13	新富町図書館	NOSA I「宮崎の農村」写真展(7月)、ふるさとの水辺発表会(8月)、統計グラフコンクール作品展(8月)
14	木城町総合交流センターリパリス図書室	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(7月)
15	川南町立図書館	NOSA I「宮崎の農村」写真展(7月)、ご存じですか、高次脳機能障がい(10月)、ふるさとの水辺発表会(1月)、消費者教育巡回パネル展(2月)
16	都農町民図書館	宮崎県の職業訓練展(4月)、統計グラフコンクール作品展(6月)、児童福祉推進キャンペーン(10月)、NOSA I「宮崎の農村」写真展(11月)、企業局のゼロカーボン社会づくりの取り組み(2月)
17	門川町立図書館	日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(6月)、NOSA I「宮崎の農村」写真展(8月)、霧島ジオパークの魅力(1月)
18	美郷町南郷図書館	森林・林業にふれてみませんか！(9月)、NOSA I「宮崎の農村」写真展(9月)
19	高千穂町立図書館	統計グラフコンクール作品展(5月)、日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ展(6月)、宮崎の古墳文化パネル展(9月)、NOSA I「宮崎の農村」写真展(12月)

(11) 文化活動事業

① 第67回「こどもの読書週間」関連行事

毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心とする「こどもの読書週間」は、良い本や良い雑誌に親しむことで子どもたちに読書の楽しみや喜びを伝え、また、大人には子どもの成長にとって「読書の習慣」がいかに大切なことか、良い本とはどんなものかを考える機会を提供するための啓発期間である。

県立図書館においても、子どもたちを良書に親しませ、読書活動等の体験等を通じて読書習慣を身につけさせることをねらいとして、次の関連行事を企画し実施した。

期 間 令和7年4月22日(火)～5月11日(日)

内 容

ア 企画展示1「あったらいいな！こんなまち～みらいをつくるこどもの本～」

内 容：理想の町のイメージを喚起する絵本や町づくりに関連する児童図書などの展示

イ 企画展示2「児童図書室紹介コーナー」

内 容：多く読まれた本20冊、読み聞かせボランティア、かば先生文庫などの紹介

ウ 特別おはなし会Ⅰ「外国語で絵本を楽しもう」

内 容：宮崎公立大学外国語読み聞かせ部による英語の絵本の読み聞かせと手遊び歌

エ 特別おはなし会Ⅱ「しゅわでおはなし会」

内 容：児童図書室職員による手話を組み合わせた読み聞かせ

オ 共同開催ワークショップ「点字でしおりをつくろう！」

内 容：県立視覚障害者センター職員と児童図書室職員によるワークショップ

カ おはなし会

内 容：ボランティア団体、図書館職員による絵本や紙芝居の読み聞かせ



企画展の展示風景



特別おはなし会の様子



絵本ワークショップの様子

② 第79回「秋の読書週間」関連行事

毎年10月27日の「読書の日」を初日として、この日から11月9日までの期間は「秋の読書週間」とされており、子どもから大人まで様々な世代が本に親しみ、読書を楽しむことを通して文化を育むための啓発期間である。

県立図書館においても、「昭和100年、読書の100年」と題し、読書の100年を振り返る年表や地元出版社・新聞社へのインタビュー内容等の展示を行った。また、「これって読書？あなたが読書だと思うものを教えてください」等の参加型の展示を複数設置した。また、期間中に3つのイベントを実施した。「本のカバーかけ体験」は8名の参加があり、図書館職員と一緒にご自身の本にカバーをかける体験を行った。「本友のススメ」は8名の参加があり、オススメの本を持ち寄って紹介し合い、交流を深めた。「ひなデジ体験会」は9名の参加があり、利用方法等の説明後、実際にひなデジで電子書籍を体験していただいた。



企画展の展示風景



「本のカバーかけ体験」



「本友のススメ」



「ひなデジ体験会」

③ 特別展等

2階特別展示室において館蔵資料を中心とした貴重な資料を展示し、広く県民に公開した。

令和7年度は、宮崎県内の歴史や文化、人物などを取り上げて紹介し、県民文化の向上を図った。また、普及活動として県内の生涯学習施設や関係機関と連携して巡回展や共催展を実施した。

〈特別展〉

「平部嶠南と『日向地誌』—ある書物の旅—」

期 間 令和7年9月20日（土）～10月19日（日） 開催日数：26日

内 容 当館では平部嶠南の蔵書群を寄託資料「嶠南文庫」として管理運用しているが、彼の編著『日向地誌』の原本（県庁本）と写本も所蔵している。この『日向地誌』にスポットを当て、その編纂の過程や本館との関わり、『日向地誌』の持つ情報についてそれぞれテーマを設定し、その他の関連資料も紹介した。

〈特別展〉

牧水生誕140年記念「若山牧水」～`歌人、牧水の誕生～

期 間 令和7年11月8日（土）～12月7日（日） 開催日数：26日

内 容 若山牧水は、いかにして国民的`歌人、となったのかを、牧水自身が書き残した随筆や書簡等から読み解き、その契機となった出来事や親族・友人・恩師たちの影響を紹介した。また、牧水直筆の遺墨10点を展示し、丸みを帯びて読みやすいとされる牧水独自の筆致を鑑賞してもらう展示会とした。



〈巡回展〉

会場・期間 ○ 巡回展「宮崎の鉄道～鉄道敷設の歴史～」

椎葉村図書館「ぶん文 Bun」・・・5月9日（金）～5月28日（水）

日南市立南郷図書館・・・9月25日（木）～10月8日（水）

延岡市立図書館北方分館・・・10月15日（水）～11月11日（火）

門川町立図書館・・・11月11日（火）～12月2日（火）

きよたけ児童文化センター・・・12月5日（金）～12月26日（金）

○ 巡回展「中村地平の足跡」

高岡地区交流センター・・・6月5日（木）～7月1日（火）

国富町立図書館・・・7月1日（火）～7月29日（火）

美郷町立南郷図書館・・・8月5日（火）～9月2日（火）

高千穂町立図書館・・・10月15日（水）～11月11日（火）

宮崎大学附属図書館・・・12月2日（火）～12月26日（金）

内 容 令和5年度に実施した特別展「宮崎の鉄道～鉄道敷設の歴史～」、令和6年度に実施した特別展「中村地平の足跡」を再構成し、県内の市町村立図書館や資料館等公共施設で実施した。

〈共催展〉

「遺跡発掘成果展 2025『東九州自動車道 118 遺跡 ～新富～高鍋編～』」

期 間 令和 8 年 1 月 28 日（水）～同年 2 月 15 日（日） 開催日数：15 日

内 容 宮崎県埋蔵文化財センターが、東九州自動車道の建設にあたり発掘調査を行った新富～高鍋間の遺跡から出土した遺物を、宮崎県埋蔵文化財センターとの共催で展示した。

④ 郷土史料等学習活動

〈宮崎県文化講座〉

本県の継承すべき歴史や文化を紹介することで、地域の歴史や文化に関心と誇りをもち、地域文化の向上を図るとともに、県民の生涯学習を支援することを目的に、当館の研修ホールにおいて次のとおり実施した。

受講者計 127 名

回	期 日	演 題	講 師	受講者
1	9 月 20 日（土）	「平部嶠南が遺した歴史資料」	長友 禎治 氏 （日南市教育委員会生涯学習課文化財係）	49 名
2	10 月 25 日（土）	「宮崎の野生動物－ヒトと動物の関係から考える－」	岩切 康二 氏 （宮崎野生動物研究会）	35 名
3	11 月 22 日（土）	「シン・若山牧水」～牧水の新たな魅力～	伊藤 一彦 氏 （歌人、若山牧水研究家）	43 名



第 1 回文化講座の様子



第 2 回文化講座の様子



第 3 回文化講座の様子

〈古文書講座〉

古文書に対して親しみを感じていただくと同時に、本県の歴史について理解を深めていただくことを目的に、当館が所蔵する史料等をテキストとして利用し、古文書解読の講座を実施した。

受講者計 100 名

回	期 日	内 容	講 師	受講者
1	6 月 7 日（土）	古文書と親しむ （「佐土原藩嶋津家日記」を中心に）	若山 浩章 氏 （宮崎県地域史研究会会長）	23 名
2	7 月 5 日（土）			29 名
3	8 月 2 日（土）			24 名
4	9 月 6 日（土）			24 名

(12) 郷土資料調査研究事業

郷土に関する資料の調査研究を進め、史料集等の印刷物を刊行するとともに、館蔵の貴重資料をデジタル化し、デジタルアーカイブの充実を図る。

① 『宮崎県史料』

昭和 49 年度から継続している、現在県内唯一の史料刊行事業。古文書を活字化することにより、生涯学習や歴史解明の素材を提供し、県民の財産として将来の世代へ本県の歴史・文化を伝えることを目的として行っている。

令和 7 年度は『佐土原藩嶋津家江戸日記（二十七）』を刊行した。（80 部）

② 『宮崎県文化講座研究紀要』

昭和 49 年度から「宮崎県地方史講座」として解説し、平成 19 年度から地域の歴史のみならず、自然科学などの分野にも範囲をひろげることにより、幅広い文化の発信と理解を目指して『宮崎県文化講座』と改称した。本館で実施した宮崎県文化講座の発表内容を論文として公表し、講座の内容と研究の成果を広く公開することにより、本県の文化向上と生涯学習の充実を図ることを目的として刊行している。

令和 7 年度は『宮崎県文化講座研究紀要 第 52 輯』を刊行した。（100 部）

③ 貴重書デジタルアーカイブ

1,296 点の貴重資料をデジタルアーカイブとしてホームページ上で公開している。令和 7 年度は 77 点、6,685 コマを公開し、アクセス数は 2,505 件である。

④ デジタル宮崎県史

「宮崎県史」のうち通史編 7 冊（原始・古代 1、古代 2、中世、近世上、近世下、近・現代 1、近・現代 2）、資料編 2 冊（民俗 1、民俗 2）、別編 2 冊（民俗、年表）の計 11 冊を電子化し、令和 7 年 3 月 28 日からホームページで公開している。

(13) 広報活動等

① 「緑陰通信」発行事業

昭和 25 年から、宮崎県立図書館報として「緑陰通信」を発行している。

令和 7 年度は、No. 244（8 月）、No. 245（2 月）を発行した。

② ホームページ等活用事業

県内均質のサービス向上を図るとともに、地域の情報拠点としての役割を果たすため、ホームページを通じて図書館情報や資料情報、蔵書検索システム等を提供している。

また、SNS による情報発信として、公式フェイスブック及びインスタグラムを運用している。

〈主な内容〉

- ・ 総合利用案内
- ・ 行事の案内と紹介
- ・ 郷土資料や宮崎の偉人紹介
- ・ 県立図書館蔵書検索
- ・ 県内公共図書館等の横断検索
(当館を含む 25 館が参加)
- ・ パスファインダー
(調査の内容や目的に応じた資料・情報の紹介)
- ・ 電子メールによるレファレンス
- ・ 資料貸出予約申し込み
- ・ ひなた電子図書館
(電子書籍サービス、デジタルアーカイブ)



〈パソコン用ホームページトップページアクセス件数の推移〉

単位 (件)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件 数	163,523	169,170	262,675	336,919	318,607

※ 令和3年度から集計のための計測ツールを変更した。

〈フェイスブックアクセス件数・フォロワー数〉

単位 (件・人)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アクセス件数	25,618	29,406	35,145	30,441	29,151
フォロワー数	601	649	673	700	727



〈インスタグラムアクセス件数・フォロワー数〉

単位 (件・人)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アクセス件数	—	1,326	11,515	24,335	40,461
フォロワー数	—	104	325	689	1,048



※ 令和4年10月から運用開始した。

③ 体験学習・施設見学

〈職場体験学習〉

実施日	内容等	実施日	内容等
6月26日～6月27日	職場体験学習 2名 (宮崎市立大塚中学校)	9月24日～9月25日	職場体験学習 2名 (宮崎大学附属中学校)
7月3日～7月4日	職場体験学習 2名 (宮崎市立宮崎北中学校)	11月26日～11月28日	職場体験学習 8名 (宮崎市立東大宮中学校 4名) (宮崎市立宮崎西中学校 3名) (宮崎市立赤江中学校 1名)
8月18日～8月22日	県庁インターンシップ 4名		
8月26日～8月28日 9月3日～9月4日	図書館司書実習 9名 (宮崎学園短期大学)	12月24日～12月25日	インターンシップ 1名 (宮崎県立宮崎農業高等学校)
		合計	28名

〈施設見学〉

実施日	団体名・参加者数	実施日	団体名・参加者数
5月 9日	国富町立本庄小学校 72人	11月 14日	新富町立新田小学校 31人
5月 16日	宮崎市立大宮小学校 152人	11月 20日	宮崎市立高岡小学校 69人
5月 23日	新富町立上新田小学校 28人	12月 11日	宮崎大学附属小学校 66人
7月 9日	高校教育研究会図書館部会 30人	1月 22日	野の花幼稚園 32人
7月 29日	県庁新採グループ 12人	3月 3日	西都市立穂北中学校 26人
8月 8日	児童療育センター ほのぼの園 34人	3月 4日	みやぎき認定こども園 25人
10月 8日	田野ゆうゆう学園 20人	3月 5日	至慶幼稚園 35人
10月 29日	西都市立三財小学校 18人	3月 18日	認定こども園ソレイユ 33人
11月 7日	宮崎市立宮崎西小学校 20人	3月 27日	就労自立準備型放課後等デイサービス For happiness 宮崎 15人
11月 13日	川南町立東小学校 16人	合計	734人

(14) 「かば先生文庫」

平成24年10月に亡くなられた宮崎市内の佐藤小児科医院 故佐藤雄一院長の御遺族から、長年にわたり小児医療に力を注いできた院長の意思を継ぎ県内の子どもたちに役立ててほしいとの趣旨で、児童図書館の寄贈申出があった。そこで、亡くなられた院長の愛称にちなんで「かば先生文庫」として創設し、児童図書室とBM書庫内に「かば先生コーナー」（平成25年4月29日開設）を設けて14年目を迎えた。

〈かば先生文庫整備数〉（令和8年3月31日現在）

2,240冊 内訳 児童図書室 907冊
B M 書 庫 1,333冊

(15) 講演会等の主催・共催

当館単独による主催又は県民の生涯学習に資する活動を行っている団体等との共催により各種の講演会等を実施した。

① 「小さな子どものえほん読み聞かせ講座」

幼い子どもをもつ保護者を対象に、図書館司書の視点から、絵本の読み聞かせの重要性や絵本の選び方・読み方について伝え、家庭での読み聞かせの推進を図ることを目的に講座を実施した。

日時：第1回 令和7年 6月8日（日） 午前10時30分～11時15分（45分）

第2回 令和7年10月2日（木） 午前10時30分～11時15分（45分）

会場：児童図書室おはなしのへや

講師：児童サービス担当奉仕相談員 木村浩子（絵本専門士）

参加者 第1回：29名 第2回：29名

② 若山牧水生誕140年記念講演「牧水の歌を読みなおす」

主催：県立図書館

郷土の歌人若山牧水の生誕140年に際し、改めて牧水の歌の世界を堪能する機会として、当館の名誉館長である伊藤一彦氏と東郷町出身の吉川宏志氏による講演会を行った。

(会場：研修ホール)

期 日	内 容	参加者
7月6日(日)	第1部 講師二人が選ぶ牧水の歌(10首ずつ) 第2部 参加者が好きな牧水の歌に講師二人がコメント 第3部 参加者からの質問 第4部 講師二人の若山牧水に寄せる思い	77名



講演会の様子

③ 「第12回高校生ビジネスプラン・グランプリ」 ビジネスプラン作成講座

共催：日本政策金融公庫熊本創業支援センター

県内の高校生及び高等専門学校生が事業計画作成について学ぶことを通して、大学生や社会人としてのプラン作成スキル等を習得することを目的としたビジネスプラン作成講座を開催した。

(会場：研修ホール)

期 日	内 容	講 師	参加者
7月26日(土)	「ビジネスアイデア発想(基礎編)」	日本政策金融公庫職員	12名
	「ビジネスアイデア発想(応用編)」		
	「図書館活用講座・館内見学」	県立図書館職員	
	「ビジネスプラン作成(実践編)」	日本政策金融公庫職員	
	「ビジネスプラン作成(ブラッシュアップ編)」	日本政策金融公庫職員 県立図書館職員	

④ 「みやざき自然塾コロキウム」

主催：NPO法人みやざき自然塾

定期的な学術・文化講演会等を開催した。

(会場：視聴覚室 第69回のみ研修室)

	期 日	演 題	講 師	参加者
1	5月17日(土) (第68回)	私の人生行路：臨床心理学→演奏家→音楽療法士～ 音楽と療法を繋ぐのは「内なる自然＝精神」～	益子務 氏 (武庫川女子大学名誉教授・元日本音楽療法学会会長) 土田悦子氏 (宮崎学園短期大学、宮崎国際大学非常勤講師)	44名
2	7月26日(土) (第69回)	「宮崎大学を考えるーフェニックスガキミヲマッテイルから45年を振り返るー」	明石良 氏 (宮崎大学 理事・副学長)	26名

3	1月17日(土) (第70回) 記念コロキウム	本で繋がる地域コミュニティ形成をめざして～内なる自然への「帰趨」～	杉本サクヨ 氏 (理事・まちライブラリー松風文庫オーナー) 吉玉國二郎 氏 (理事・熊本大学名誉教授) 川路善彦 氏 (宮崎日日新聞社 生活文化部長・論説委員) 中村敏彦 氏 (宮崎県教育庁 生涯学習課長)	51名
4	3月28日(土) (第71回)	民間信仰からみた月と女性	亀澤克憲 氏 (宮崎民俗学会・事務局長)	33名

⑤ 令和7年度「いいお産の日 in 宮崎」

主催：公益社団法人宮崎県看護協会

妊娠中や子育て中の家族が、地域とのつながりの輪を築くとともに、県立図書館の取組の周知と子育て支援に関する資料や児童図書の利用促進を図ることを目的として開催した。

(会場：研修ホール)

期 日	内 容	担 当	参加者
11月8日(土)	沐浴体験	宮崎県看護協会職員	70名
	助産師解説「退院後のリアルな1日」	宮崎県助産師会職員	
	情報交換会	宮崎県看護協会職員	
	絵本の読み聞かせ	県立図書館職員	
	展示、体験コーナー	県助産師会 県立図書館職員 県歯科医師会	

⑥ 「読書県みやざき」×「宮崎だいすきポケモン」 ナッシーを活用した読書振興の取組

連携機関：県生涯学習課、県観光推進課、株式会社ポケモン

秋の読書週間にちなみ、令和7年10月～11月の期間中、希望する利用者に対してスタンプカードを配布の上、本を借りた回数に応じてスタンプを押し、その数によってナッシーがデザインされたオリジナルしおりを贈呈する取組で、当館を含む県内35の公立図書館(室)で実施した。10月1日の開始初日には、新富町図書館、川南町立図書館、都農町民図書館の各職員が読書推進アピールのため河野知事を表敬訪問した。

© Pokémon. © Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの商標です。



⑦ 歌人大口玲子さんの短歌講座

主催：県立図書館

郷土の歌人・若山牧水生誕140年記念企画として、歌人の大口玲子氏を講師に、NHKアナウンサーの梶原典明氏を聞き手役として迎え短歌講座を開催した。

(会場：研修ホール)

期 日	演 題	講 師	参加者
1月18日(日)	はじめての短歌～わけもんも大人も！	大口 玲子 氏(歌人) 梶原 典明 氏(NHKアナウンサー)	49名

⑧「大人も楽しむおはなし会」

絵本の中には、こどもだけでなく大人にも楽しめる内容のものがたくさんある。幅広い世代に児童図書室を活用していただくことを目的として、大人向けのおはなし会を行い、絵本を紹介した。

日 時：令和8年1月25日（日）14時～14時30分（30分）

会 場：児童図書室内おはなしのへや

担 当：児童サービス担当職員及び一般カウンター担当職員

参加者：26名（大人の方24名、同伴のお子さん2名）

(16) 大学及び大学図書館との連携

○ 県内の大学図書館及び高等専門学校図書館で組織する宮崎県大学図書館協議会総会に、オブザーバーとして参加し、情報共有や意見交換を行っている。

○ 宮崎大学との間で「国立大学法人宮崎大学と宮崎県立図書館との連携協力に関する協定」を平成30年4月1日付けで締結している。

〈主な実績〉

ア 宮崎大学ビジネスプランコンテスト関連企画展

イ 宮崎大学附属図書館における「若山牧水展」企画展示の実施

ウ マイラインサービスの実施

エ 相互遠隔地返却サービスの実施（令和5年7月から）

○ 宮崎大学附属図書館、宮崎学園図書館（宮崎国際大学・宮崎学園短期大学）、宮崎県立看護大学附属図書館及び宮崎産業経営大学附属図書館との間で、オンラインによる横断検索システムを接続し運用している。

(17) 研修

図書館職員のスキルアップを図り、図書館サービスの向上につなげるため、県内外の様々な研修等に職員を派遣しているほか、館外の図書館等職員を対象とした研修を実施している。

ア 障害者サービス担当職員養成講座（入門）

期 日	会 場	内 容 等
6月5日～ 6月6日	日本図書館協会	主催 日本図書館協会 障害者サービスの各種講義（オンデマンドでも配信） 障害者サービス用資料・機器の展示と体験

イ 準デジタルアーキビスト資格取得講座

期 日	会 場	内 容 等
6月23日、 7月5日	オンライン 形式	主催 日本デジタルアーキビスト資格認定機構 デジタルアーカイブに関する各種講義 資格取得試験

ウ 第47回文化財の虫菌害・保存対策研修会

期 日	会 場	内 容 等
7月14日、 7月22日	オンライン 形式	主催 文化財虫菌害研究所 今後の資料保存のための生物被害防除の考え方 総合的有害生物管理（IPM）に関する各種講義

エ 新任図書館長研修

期 日	会 場	内 容 等
9月17日～ 9月19日	オンライン 形式	主催 文部科学省、国立大学法人筑波大学 特別講義 ①「SDGs と図書館」 青柳 英治 氏（明治大学） ②「北欧諸国における公共図書館の意義と役割」 和気 尚美 氏（慶應義塾大学） 基本講義 「図書館行政の動向」 稲田 幸昌 氏（文部科学省） ほか

オ 中堅職員ステップアップ研修（領域3：図書館・情報インフラを発展させる）

期 日	会 場	内 容 等
10月14日～ 10月15日	オンライン 形式	主催 日本図書館協会 Web を活用した図書館サービスの設計と実施 図書館システムの機能と要件、要件定義の実際

カ 第111回全国図書館大会愛媛大会

期 日	会 場	内 容 等
10月30日～ 10月31日	愛媛県民 文化会館 ほか	主催 日本図書館協会、愛媛県等 テ ー マ 「図書館が 彩る未来 伊予路から」 記念講演 「読むこと 書くこと 生きるということ」 白川 密成 氏（住職）、高橋 久美子 氏（作家）、田丸 雅智 氏（作家） 各種分科会（読書バリアフリー等）

キ 障害者サービス担当職員向け講座

期 日	会 場	内 容 等
12月3日～ 12月4日	オンライン 形式	主催 国立国会図書館 障害者サービスと読書バリアフリー法 国立国会図書館の障害者図書館協力サービス ほか

ク 全国公共図書館研究集会（児童・青少年部門）

期 日	会 場	内 容 等
12月8日～ 1月19日 （配信）	オンライン 形式	主催 日本図書館協会、主管 長崎県立長崎図書館 基調講演 「子どもの本やヤングアダルトむけの本を訳してきて考えたこと」 金原 瑞人 氏（翻訳家） 各種事例報告

ケ 図書館基礎講座 in 九州（鳥栖）

期 日	会 場	内 容 等
2月2日 （2日目）	鳥栖市立 図書館	主催 日本図書館協会等 講座 「図書館の基礎」 下川 和彦 氏（福岡女子短期大学） 講座 「現代の図書館の動向」 永利 和則 氏（福岡女子短期大学） 特別講座、地域限定講座

コ レファレンスサービス研修（人文情報の調べ方―応用編―）

期 日	会 場	内 容 等
2月6日	オンライン 形式	主催 国立国会図書館 人文分野のレファレンス（総論・各論） 演習及び事例紹介

サ 宮崎県公共図書館連絡協議会

期 日	会 場	内 容 等
6 月 9 日	県立図書館	新任職員研修会（講師等はいずれも県立図書館職員） 説 明 「図書館ネットワークの活用法、市町村レファレンスについて」 「マイラインサービス・やまびこ文庫・セット文庫事業等について」 講 義 「資料の収集等について」 情報交換 「新任司書としての課題や課題解決を図るために」
7 月 28 日	県立図書館	職員研修 青少年サービス 講 義 「子どもと本をつなぐために図書館ができること」 ワークショップ 「「まわしよみ新聞」を作ってみよう」 講 師 木下 通子 氏（オフィスみちねこ 代表）
8 月 25 日	県立図書館 （オンライン併用）	政策研修 図書館経営 講 義 「人口減少時代の図書館サービス～協働によるまちづくり～」 講 師 是住 久美子 氏（愛知県田原市図書館 館長）
10 月 20 日	県立図書館 （オンライン）	職員研修 図書館サービス 講 義 「“図書館にこない人”を検討する」 講 師 佐藤 翔 氏（同志社大学免許資格課程センター 教授）
11 月 17 日	県立図書館	レファレンス研修 レファレンス 講 義 「ネット生成 AI の時代に、なぜ読書？なぜ図書館？？～未来を切り拓く探究学習支援～」 講 師 梅澤 貴典 氏（中央大学職員）
12 月 8 日	県立図書館 （オンライン併用）	専門研修 読書バリアフリー 講 義 「公共図書館での図書館利用に障害のある人へのサービス～目黒区立図書館の事例を参考に～」 説明・演習 「サピエ図書館とみなサーチについて」「サピエ図書館とみなサーチの使用体験」 講 師 椎原 綾子 氏（目黒区立八雲中央図書館日本図書館協会障害者サービス委員会） 実践発表 「読書を支援する機器やアプリ等 ICT の活用について」 講 師 宮井 英次 氏（県立明星視覚支援学校 教諭）

(18) 図書館サポーター

県民の図書館への理解促進や県民の生涯学び続ける意欲の醸成の場とすること等を目的として、令和5年7月から運用を開始した事業である。3年目となる令和7年度は9名をサポーターとして登録し、閲覧室の配架作業や BM 書庫での簡易な資料修理や装備、資料の清拭等に取り組んだ。

令和7年度図書館サポーター活動記録

活動場所	活動内容	回数	備考
閲覧室	資料排架	61	
	書架整理	23	
	その他	1	カード確認
BM書庫	書架整理	5	
	資料拭き	35	
	資料修理・装備	13	
	その他	2	パンフレット綴じ、封筒作成
資料管理	書誌整理（パソコン入力）	2	
その他	イベント補助	5	

3 各種協議会等

(1) 県立図書館協議会

県立図書館協議会は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 14 条及び県立図書館条例（昭和 25 年条例第 49 号）第 2 条の規定により設置しており、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。

① 委 員（任期：令和 6 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日）

区 分	所属・職名	氏 名	区 分	所属・職名	氏 名
社 会 教 育 関 係 者	宮崎大学地域資源創成学部教授	根岸 裕孝	学識経験者	(株)宮崎日日新聞社生活文化部長	川路 善彦
〃	都城市立図書館副館長	前田 小藻	〃	会社員（公募枠委員）	小山 美香
学 校 教 育 関 係 者	宮崎県立日向高等学校指導教諭	山崎 俊一	社 会 教 育 関 係 者	(株)HUTTE 代表	今西 猛
〃	小林市立三松小学校長	満園 真由美	家 庭 教 育 関 係 者	小林市小・中学校「読みきかせ」連絡協議会代表	坂下 実千代
学識経験者	都城島津邸学芸員	山下 真一	〃	美郷町教育委員（公募枠委員）	橋口 美帆

※ 所属・職名は令和 8 年 3 月現在

② 令和 7 年度開催状況

開催年月日	協 議 事 項
令和 7 年 8 月 7 日(木)	ア 宮崎県立図書館の現状について イ 図書館評価について ウ アクションプランについて
令和 8 年 2 月 5 日(木)	ア 令和 7 年度の運営状況について イ 第 4 期県立図書館アクションプラン（案）について ウ 令和 8 年度の運営方針等について

(2) 宮崎県公共図書館連絡協議会

宮崎県公共図書館連絡協議会は、県内の公共図書館及び公民館等図書室等の相互の連絡を密にし、図書館事業の進展を図ることを目的として昭和 33 年に発足した。昭和 48 年には全市町村が加入し、県内の読書活動を推進する大きな組織として発展している。

① 令和 8 年度役員名簿

役 名	職 名	氏 名	備 考
会 長	宮崎県立図書館長	海野 由憲	
副 会 長	日南市立図書館長	梶渡 良也	
〃	木城町総合交流センターリリス図書室長	谷 岡 潔	
監 事	椎葉村図書館長	黒木 保隆	椎葉村長
〃	日之影町立図書館長	橋本 範憲	町教育長
顧 問	宮崎県市長会長	池田 宜永	都城市長
〃	宮崎県町村会長	佐藤 貢	日之影町長

② 令和7年度事業実績

〈会 議〉

期 日	会 場	議 題
5月26日	県立図書館	I 総会 1 令和6年度事業実績及び収支決算報告 2 令和7年度事業計画案及び収支予算案 3 令和7年度役員案 II 令和7年度読書団体等及び公共図書館等職員表彰 III 事務連絡 IV 分科会（管理担当者部門・実務担当者部門）
3月9日	県立図書館	I 総会 1 令和7年度事業実績報告及び収支決算（見込み） 2 令和8年度事業計画（案）及び予算（案） 3 その他 4 事務連絡 II 意見交換

〈研 修〉 詳細・内容等は、38～40ページに記載。

〈県外研修派遣〉 3名

〈図書館アドバイザー派遣〉 詳細・内容等は、24ページに記載。

③ 令和7年度総会表彰者名簿

〈読書普及優良団体・個人〉

読書団体名	代 表 者 名
バムケロ（宮崎市）	松木 弘志

〈優良職員〉

所 属	職名・氏名
元綾てるは図書館館長（綾町）	中村 清久

(3) 宮崎県地方史研究連絡協議会

この会は、昭和48年11月10日に県内地方史の研究グループ・史談会、また郷土に関心をもつ個人を会員とし、相互の情報交換・研究発表を行い、県内の郷土史研究を進める目的で発足した。現在まで郷土史に関する情報交換・研究に尽力している。

① 事業実績

〈理事会・総会・研究発表会〉

令和7年5月23日（金） 会場：県立図書館研修ホール

・理事会

総会に向けての提案事項、役員の改選、秋季研究発表大会について協議を行った。
また各地区での活動状況についての情報交換を行った。

令和7年7月16日（水） 会場：県立図書館研修ホールほか

・総 会

地区別協議会、第2回理事会および総会を実施した。第2回理事会では、役員の改選、秋季研究発表大会について協議を行った。総会では、提案事項について審議が行わ

れ、秋季研究発表延岡大会は開催せず、各団体で延岡史談会の開催する「延岡歴史探訪」に参加することになった。

・研修会

九州医療科学大学 山内利秋 氏による「社会的課題と文化財保存－災害や人口減少に我々の分野はどう向き合うか－」というテーマの講演を行った。



研修会の様子

〈秋季研究発表大会〉

今年度は開催せず。

〈その他〉

- ・「地方史みやぎき 第70号」の発行

② 役員及び加入団体（令和8年4月現在）

〈役員〉 任期：令和7年7月～令和9年7月

会 長 甲斐 典明（延岡史談会）

副 会 長 石川 正樹（高鍋史友会）、河野 幸子（串間史談会）、
窪園 辰也（小林史談会）

理 事 柏田 公和（日向市史談会）、森 さち子（木城史友会）
山下 真一（南九州文化研究会）、稲泉 元司（えびの市史談会）
佐藤 正信（個人会員）、有馬 晋作（個人会員）

監 事 原口 勝（佐土原郷土史会）、長津 宗重（宮崎考古学会）

顧 問 橋本 孝則（前会長）

事 務 局 宮崎県立図書館内

〈加入団体〉

（令和8年4月）

名 称	所 在	名 称	所 在
延岡史談会	延岡市	佐土原郷土史会	宮崎市
日向市史談会	日向市	えびの市史談会	えびの市
木城史友会	木城町	小林史談会	小林市
高鍋史友会	高鍋町	都城史談会	都城市
宮崎考古学会	宮崎市	南九州文化研究会	都城市
宮崎県総合博物館	宮崎市	串間史談会	串間市
宮崎県埋蔵文化財センター	宮崎市		

○ 団体会員：13 団体 個人会員：6 名

(4) 令和8年度宮崎県立図書館資料推薦委員

No.	推薦分野	氏 名	所 属 等
1	歴史学（古代史・中世史）	永井 哲雄	元県史編さん室長
2	歴 史 学（近世史）	大賀 郁夫	元宮崎公立大学教授
3	歴 史 学（西洋史）	中堀 博司	宮崎大学教育学部教授
4	自 然 科 学	木下 統	宮崎大学農学部准教授
5	経 営 学	土屋 有	宮崎大学地域資源創成学部准教授
6	医療・健康	綾部 貴典	宮崎大学医学部教授
7	社 会 科 学（法律）	山田 秀一	宮崎県弁護士会
8	語 学（韓国語）	李 善愛	宮崎公立大学人文学部国際文化学科教授
9	語 学（中国語）	田宮 昌子	宮崎公立大学人文学部国際文化学科教授
10	語 学（外国語一般）	永田 耕嗣	宮崎県国際交流協会常務理事兼事務局長
11	自 然 科 学・歴 史	井上 大輔	宮崎県総合博物館長
12	美 術	黒木 淳一郎	宮崎県立美術館長
13	教 育	田中 幸一	宮崎県教育研修センター所長
14	産 業	渡邊 寿茂	宮崎県産業振興機構経営情報課長
15	衛 生・環 境	野中 勇志	衛生環境研究所長
16	工 学	湯地 正仁	工業技術センター所長
17	土 木・建 築	前田 秀高	技術企画課長
18	農 業	下田 透	総合農業試験場長
19	水 産	安田 広志	水産試験場長
20	畜 産	松葉 賢次	畜産試験場長
21	林 業	宮川 美品	林業技術センター所長
22	体 育	津田 秀信	スポーツ指導センター所長
23	福 祉（障がい者）	隈元 淳二	障がい福祉課長
24	考 古 学	山田 真也	埋蔵文化財センター所長

【参考資料】

1 沿 革

(1) 県立図書館の歩み

明治	
35 年 5 月	私立日州教育会附属図書館を県に移管して創立 蔵書 2,300 冊、建物延 155.10 m ² (47 坪)
大正	
4 年 11 月	御大典記念事業として工費 15,000 円新館建設
5 年 1 月	新館開館 (第 2 代館)
昭和	
24 年 5 月	工費 10,115,000 円で増改築
25 年 4 月	宮崎県立図書館報「緑陰通信」創刊
26 年 8 月	宮崎県立図書館協議会発足
29 年 1 月	自動車文庫「やまびこ」開設、県内巡回開始
30 年 4 月	佐土原藩嶋津家日記の翻訳開始
33 年 4 月	県内公共図書館連絡協議会・県内公共図書館 7 館で発足
34 年 4 月	近隣の町村会館から出火、類焼のため建物 1,900.80 m ² (576 坪)、蔵書約 15,000 冊、フィルム 650 本、レコード 2,200 枚、美術品、庁用器具等焼失
36 年 4 月	総工費 100,280,000 円 (付帯含む) で新館完成 鉄筋コンクリート 3 階建、延面積 3,245 m ² (986 坪)
7 月	新館開館 (第 3 代館)
37 年 4 月	5 ヶ年計画で P T A 母親文庫を開設
40 年 1 月	宮崎県郷土史料総合目録を刊行
41 年 4 月	3 ヶ年計画で行政資料所在目録調査開始
42 年 5 月	複写サービス開始
43 年 4 月	10 年計画で内藤家文書 (明治大学所蔵) のマイクロ撮影開始
6 月	3 ヶ年計画で 3 級地以上の「へき地校」に「へき地仲よし子ども図書館」の設置開始
44 年 1 月	宮崎県行政資料所在目録刊行
45 年 4 月	5 ヶ年計画で蔵書目録刊行事業開始 内藤家文書 (マイクロ・フィルム) の翻訳開始
46 年 3 月	蔵書目録第 1 巻 (総記、哲学、歴史編) 刊行
47 年 3 月	蔵書目録第 2 巻 (社会科学編) 刊行
7 月	開架室の増設 (1 万冊を 2 万冊へ)
48 年 3 月	蔵書目録第 3 巻 (自然科学、工学、工業、産業) 刊行
4 月	自動車文庫による配本を 3 ヶ年計画で拠

点サービス方式に切り換えることにし当年度 22 町村が完了	
宮崎県史料刊行事業開始	
7 月	県内公共図書館連絡協議会へ全市町村加入
小中学生に対する館外貸出制度新設	
11 月	宮崎県地方史研究連絡協議会を結成、研究大会開催
49 年 1 月	購入雑誌を 146 種類 (従来 63 種類) に増加
3 月	蔵書目録第 4 巻 (芸術、語学、文学編) 刊行
49 年 4 月	機構改正により、総務課に総務係、調査連絡係、資料課と奉仕課の業務を再編成し館内奉仕課とし奉仕係、相談係、館外奉仕課に地方奉仕係、児童奉仕係を設け、史料刊行事業を推進するため史料室を独立 古文書解読研究会 (館内職員) 発足 郷土文化講座 (4 講座) を開催 県内の読書推進に寄与することを目的に 10 冊文庫を設置 拠点サービス方式により市町村の自主的なサービス網の拡大のため特別貸出制度開設
11 月	全国公共図書館整理部門研究集会 (27 日から 29 日 中小企業センターほか) を開催
50 年 3 月	宮崎県地方史研究紀要の刊行開始 宮崎県史料の刊行開始
4 月	市町立図書館の文化活動をすすめる一助として地方文化講座を開設 延岡・都城・小林の 3 地区で開催
51 年 1 月	郷土文化講座 (4 講座) に自然科学講座を追加
3 月	蔵書目録第 5 巻 (昭和 48 年度までの補遺) 刊行
52 年 4 月	重要貴重図書購入 5 ヶ年計画を立案、実施
10 月	蔵書目録第 6 巻 (昭和 49 年度増加目録) 刊行
53 年 3 月	蔵書目録第 7 巻 (昭和 50 年度・51 年度増加目録) 刊行
54 年 4 月	N.D.C8 版・N.C.R 予備版に切換え
6 月	新収図書目録・県内公共図書館収蔵郷土資料目録刊行開始
10 月	開架室の増設 (2 万冊を 2 万 4 千冊に)

56 年 1 月	県立図書館基本構想に関する報告書がまとまる		クシステム（通称 Myline） 運用開始（当初 5 市町村加入）
58 年 1 月	日曜日開館試行（3 月まで第 2、第 4 日曜日）		宮崎県立図書館協力連絡車運行開始
59 年 3 月	宮崎県総合文化公園基本構想検討会議が県立図書館に関する提言を含めた報告書を知事に提出	6 年 3 月	「内藤充真院道中記」刊行
4 月	日曜日開館開始	7 年 3 月	「佐土原藩・唐船漂着記」刊行
6 月	宮崎県立図書館新館建設計画作成委員会設置（2 月まで委員会 11 回を開催）	10 月	宮崎県総合文化公園グランドオープン記念事業「21 世紀の子どもたちに伝えるみやぎきの本 100 冊展」開催
60 年 1 月	宮崎市杉田正臣氏より図書等 9,322 点寄贈（「杉田文庫」創設）	12 月	「21 世紀の子どもたちに伝えるみやぎきの本 100 冊の本」刊行
4 月	新館建設準備委員会（3 月まで 5 回開催）及びコンピュータ導入委員会（3 月まで 13 回開催）設置	8 年 3 月	「佐土原藩・日向諸藩騒動記」刊行
7 月	新館建築、設計委託契約（安井・宮崎建築設計共同企業体） 昭和 61 年 3 月 20 日設計完了	9 年 3 月	「佐土原藩譜」刊行開始
9 月	宮崎市岩切章太郎氏香典返しとして 500 万円寄贈（「岩切文庫」創設）	6 月	図書貸出限度冊数 3 冊を 5 冊に、児童図書室の平日の開館時間を午前 9 時に変更
61 年 3 月	宮崎市杉田正臣氏より図書等 2,196 点寄贈（「杉田文庫」へ受入れ） 杉田文庫目録（図書の部）刊行	11 月	初めての屋外弦楽・フルートコンサートを実施
10 月	新館建設工事着工	10 年 3 月	マイライン全市町村接続
62 年 3 月	杉田文庫目録（遺墨類）刊行	6 月	「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」により、図書館と学校との融合の在り方について研究開発を行う（平成 10 年から 11 年）
12 月	新館完成、引渡	10 月	図書館づくりフォーラム開催
63 年 1 月	旧館閉鎖	11 年 3 月	宮崎市平嶋周次郎氏香典返しとして 30 万円寄贈（「平嶋文庫」創設）
2 月	新館へ移転開始（第 4 代館）	12 年 4 月	インターネットホームページ開設
63 年 5 月	新館落成・開館記念式典及び記念行事 コンピュータ・システム稼働 安井息軒銅像除幕式 開館記念 「杉田文庫 稀観資料展」開催 「杉田文庫 俳諧資料展」開催 県視聴覚ライブラリーが社会教育課より県立図書館に移行	9 月	佐土原藩嶋津家江戸日記刊行開始
7 月	図書館ボランティア養成講座開設	13 年 4 月	みどりに関する資料特別収集方針策定
平成		14 年 10 月	図書館創立 100 周年記念事業を開催
元年 7 月	紀宮様（清子内親王殿下）本館御視察	11 月	創立 100 周年記念式典
11 月	日本図書館協会百年史県内編集会議	15 年 3 月	「100 年のあゆみ」刊行
2 年 1 月	新館の入館者 100 万人を突破	4 月	県内図書館横断検索システム導入（4 館）
3 年 3 月	「嶺南日誌」1 巻の発行（3 巻で終刊）	15 年 7 月	国立国会図書館総合目録ネットワークへの参画 パソコン 2 台でのインターネット閲覧サービス開始
4 年 10 月	宮崎県立図書館創立 90 周年記念「文化講演会」開催	16 年 4 月	持ち込みパソコンでのインターネット閲覧サービス開始（7 席）
5 年 3 月	宮崎県図書館ネットワーク大綱、宮崎県図書館ネットワーク実施要綱制定	6 月	「ビジネス情報コーナー」の開設
7 月	宮崎県立図書館コンピュータネットワー	17 年 4 月	祝日開館試行開始
		5 月	入館者 1,000 万人突破
		6 月	閲覧室内学習室改装「郷土資料室」の新設
		10 月	図書館利用講座開始
		18 年 7 月	宮崎県環境情報センターが館内（閲覧室）にオープン
		19 年 12 月	「みやぎき発 Live! Library～地域づくりと図書館のミッション」開催
		20 年 2 月	図書館サイン見直し

健康情報コーナー設置
「学校図書館運営のてびき」発行

11月 中村地平生誕 100 年記念講演会開催

21 年 1 月 宮崎県町村会主催 県立図書館共催により
「地域づくり・ひとづくりを考えるシンポジウム」開催

2 月 「子育て支援コーナー」の開設

22 年 4 月 県産業支援財団、県商工会議所連合会、日本政策金融公庫宮崎支店（国民生活事業）、県立図書館の四者で、ビジネス支援に関する覚書を締結

6 月 口蹄疫拡大防止のため、6 月 12 日から 7 月 26 日の間、休館

8 月 第 34 回全国高等学校総合文化祭御臨席、秋篠宮・同妃両殿下、佳子内親王殿下本館御視察

10 月 新書庫へ視聴覚演習室改修（収蔵能力 4 万冊増）

23 年 3 月 貸出点数を 1 人 5 点から 10 点（児童図書室の資料は 5 点まで）に変更
県立図書館ブログ開始

24 年 1 月 ルース駐日アメリカ大使来館、河野知事と英語の絵本の読み聞かせ会開催

3 月 話集・音声 CD「みやぎの言の葉」（神話・伝承、民話編）刊行

5 月 書庫の空調・電気設備改修工事に伴い休館（5 月 21 日から 6 月 8 日まで）

12 月 宮崎市佐藤雄一氏の御遺族から児童書・絵本の寄贈（10 年間 3,000 冊）
「かば先生文庫」を創設、贈呈式

25 年 2 月 児童図書室、移動図書館車「やまびこ」に「かば先生コーナー」の棚整備
宮崎県環境情報センターを 1 階閲覧室から 1 階ロビーに移転

4 月 歌人 伊藤一彦氏が名誉館長に就任
置県 130 年記念特別展「宮崎県誕生」を開催

27 年 4 月 日曜・祝日の閉館時刻を午後 5 時から午後 7 時に延長
県政の重点施策情報発信事業の巡回展示開始

28 年 3 月 移動図書館車「やまびこ」廃止（平成 28 年 6 月 7 日より「やまびこ文庫」に移行）

4 月 新マイラインサービス開始
図書館ブログを休止し県立図書館公式フェイスブックページを開設

28 年 5 月 県立図書館ビジョン懇談会発足

6 月 移動図書館車「やまびこ」から「やまびこ

文庫」への引継式
「やまびこ文庫」開始

11 月 県立図書館ビジョン懇談会の提言「これからの宮崎県立図書館について」を教育長へ手交

29 年 6 月 若山牧水の高弟竹中皆二氏の御遺族から牧水が創刊した短歌雑誌「創作」を寄贈（全 878 冊）

10 月 対がん情報コーナー設置

12 月 「宮崎県立図書館ビジョン」策定
「かば先生文庫」寄贈 5 周年記念おはなし会開催

30 年 3 月 宮崎県立図書館ビジョン「第 1 期アクションプラン」策定

4 月 宮崎大学との連携協力に関する協定締結

10 月 「新館 30 周年記念 みどりの図書館フェスタ」開催
県立図書館書庫増設検討委員会設置

11 月 故小林邦雄氏の御遺族より若山牧水遺墨等寄贈

令和

元年 7 月 国立国会図書館歴史的音源サービス提供開始

2 年 3 月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3 月 5 日から 3 月 26 日の間、臨時休館

4 月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4 月 21 日から 5 月 10 日の間、臨時休館

3 年 3 月 宮崎県立図書館ビジョン「第 2 期アクションプラン」策定

8 月 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス提供開始

12 月 『読む』サポートコーナー設置

4 年 4 月 図書館創立 120 周年記念事業を各種開催（3 月まで）

9 月 塩月桃甫によるデザインをもとにした新貸出利用券を発行

11 月 BDS（ブックディティクションシステム）を非接触型に更新

5 年 2 月 宮崎県立図書館ビジョンを一部改定し、「第 3 期アクションプラン」を策定

7 月 図書館サポーターを設置

10 月 宮崎県立図書館名誉館長就任 10 周年記念講演会を開催

6 年 3 月 郷土の作家「中村地平」一試写会と館歌披露を開催

6 月 郵送での貸出利用券申請受付開始

7 月 地域若者サポートステーション図書館出張（就労支援相談）開始

9 月 電子書籍サービス「ひなた電子図書館」グランドオープン

7 年 1 月	オンラインでの貸出利用券申請受付開始
3 月	「デジタル宮崎県史」運用開始 県視聴覚ライブラリー廃止
7 年 5 月	対面朗読サービス開始
7 月	伊藤一彦名誉館長が県民栄誉賞を受賞
8 年 3 月	宮崎県立図書館ビジョン「第 4 期アクションプラン」策定

(2) 歴代館長一覧

歴代	就任年月	転退年月	氏 名	備 考	歴代	就任年月	転退年月	氏 名	備 考
初代	明治 35. 5	明治 35.10	沢 田 重 遠	学務課長 兼 視学 兼 掌	31	昭和 57. 4	昭和 59. 3	比江島 重 俊	専 任
2	" 36.11	" 38. 5	山内 卯太郎	"	32	" 59. 4	平成 2. 3	大 坪 學	"
3	" 38. 6	" 40. 2	小 山 季 郎	"	33	平成 2. 4	" 4. 3	新 貝 晴 男	"
4	" 40. 2	" 42.12	石 神 徳 蔵	"	34	" 4. 4	" 5. 3	久 徳 菊 雄	"
5	" 43. 1	大正 2. 6	市 川 覃	学務課長 兼 掌	35	" 5. 4	" 6. 3	村 岡 啓 吾	"
6	大正 2. 6	" 2. 8	林 寿 夫	"	36	" 6. 4	" 8. 3	佐 野 芳 弘	"
7	" 2. 8	" 3. 8	卜 部 正 一	"	37	" 8. 4	" 9. 3	黒 木 康 博	"
8	" 3. 8	" 8. 2	山内 卯太郎	専 任	38	" 9. 4	" 11. 3	安 田 天 祥	"
9	" 8. 2	" 11. 3	新 原 俊 秀	"	39	" 11. 4	" 13. 3	四 元 邦 和	"
10	" 11. 4	" 11. 8	天 谷 虎之助	学務課長 兼 掌	40	" 13. 4	" 14. 3	島 内 清 成	"
11	" 11. 9	" 12.11	岡 本 保 三	"	41	" 14. 4	" 15. 3	早 川 烈	"
12	" 12.12	" 14. 4	小 山 三 郎	"	42	" 15. 4	" 15. 8	岩 崎 武	"
13	" 14. 5	昭和 4. 3	多 胡 全	社会教育 主事兼掌	43	" 15. 8	" 19. 3	伊 藤 惇 一	"
14	昭和 4. 4	" 4. 6	古 城 林	学務課長 兼 掌	44	" 19. 4	" 21. 3	宮 永 博 美	"
15	" 4. 7	" 5.12	阿 賀 正 美	"	45	" 21. 4	" 22. 3	一 原 則 幸	"
16	" 5.12	" 6.12	手 島 伝	"	46	" 22. 4	" 23. 3	矢 野 好 孝	"
17	" 6.12	" 7. 1	中 島 知 道	"	47	" 23. 4	" 24. 3	高 島 俊 一	"
18	" 7. 2	" 13. 3	若 山 甲 蔵	専 任	48	" 24. 4	" 25. 3	甲 斐 睦 教	"
19	" 13. 3	" 16. 3	桐 山 修	専任嘱託	49	" 25. 4	" 26. 3	坂 本 義 広	"
20	" 16. 3	" 17. 5	山 本 栄 喜	社会教育 課長兼掌	50	" 26. 4	" 27. 3	内 戸 保 博 秋	"
21	" 17. 7	" 20. 3	大 山 俊 建	"	51	" 27. 4	" 29. 3	福 田 裕 幸	"
22	" 20. 4	" 22. 4	日 高 重 孝	専 任	52	" 29. 4	" 31. 3	金 子 洋 士	"
23	" 22. 5	" 32. 9	中 村 地 平	"	53	" 31. 4	令和 3. 3	中 原 光 晴	"
24	" 32.10	" 46. 3	日 高 一	"	54	令和 3. 4	" 4. 3	岩 本 真 一	"
25	" 46. 4	" 46. 8	穂 積 正 晴	教育次長 兼 掌	55	" 4. 4	" 5. 3	小 川 雅 彦	"
26	" 46. 8	" 47. 3	竹 内 敬 郎	"	56	" 5. 4	" 7. 3	平 山 文 春	"
27	" 47. 4	" 48. 3	杉 田 利 治	専 任	57	" 7. 4	" 8. 3	田 代 暢 明	"
28	" 48. 4	" 51. 3	藺 田 穂	"	58	" 8. 4		海 野 由 憲	"
29	" 51.4	" 53. 3	日 高 千 文	"					
30	" 53. 4	" 57. 3	三 宅 孝 明	"					

2 県立図書館条例・規則等

(1) 県立図書館条例

(昭和25年12月26日 条例第49号)

(最終改正 平成24年 3月 条例第30号)

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

2 図書館の位置は、宮崎市船塚3丁目210番地1とする。

(県立図書館協議会)

第2条 図書館に法第14条の規定に基づく県立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、10人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、県教育委員会が任命し、又は委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 協議会の会議は、図書館長が招集する。

(委任)

第3条 この条例の施行に関し必要な事項は、県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行し、昭和25年7月30日から適用する。但し、第2条から第7条までの規定は、昭和26年4月1日から施行する。

附 則(昭和31年4月13日条例第21号抄)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(昭和39年4月1日条例第36号抄)

この条例は、昭和39年4月1日から施行する。

附 則(昭和41年7月30日条例第26号)

この条例は、昭和41年8月1日から施行する。

附 則(昭和62年12月18日条例第29号)

この条例は、昭和63年2月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日条例第30号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(2) 県立図書館管理規則

(昭和63年4月1日 教育委員会規則第3号)

(最終改正 令和7年4月 教育委員会規則第5号)

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第33条第1項及び県立図書館条例(昭和25年宮崎県条例第49号)第3条の規定に基づき、県立図書館(以下「図書館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則において「図書館資料」とは、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条第1号に規定する図書館資料をいう。

第2章 組織及び職制

第1節 組織

(課の設置)

第3条 図書館に、次の課を置く。

総務・企画課

情報提供課

(総務・企画課)

第4条 総務・企画課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 図書館の事業の総合企画及び総合調整に関すること。
- (2) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (3) 予算の執行及び決算に関すること。
- (4) 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- (5) 公印の管守に関すること。
- (6) 施設及び設備の維持管理に関すること。
- (7) 図書館情報システムの運営管理に関すること。
- (8) 図書館資料の収集、整理及び保管に関すること。
- (9) 図書館資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (10) 県立図書館協議会に関すること。
- (11) 館の事務で情報提供課の主管に属さないこと。

(情報提供課)

第5条 情報提供課の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 読書活動の普及及び読書団体の育成に関すること。
- (2) 市町村の図書館活動に対する援助及び協力に関すること。
- (3) 視聴覚事業に関すること。
- (4) 郷土に関する資料の調査及び研究に関すること。
- (5) 図書館資料の利用に関すること。
- (6) 参考調査相談及び情報の提供に関すること。
- (7) 学習の機会の提供及び研修会等の実施に関すること。

第6条及び第7条 削除

第2節 職制

(職及び職務)

第8条 図書館に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
館 長	館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 館 長	館長を補佐し、館長に事故があるとき、又は館長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課に属する事務を処理する。
主 任 社 会 教 育 主 事	上司の命を受けて、社会教育に関する相当高度の専門的・技術的指導業務に従事する。
社 会 教 育 主 事	上司の命を受けて、社会教育に関する専門的・技術的指導業務に従事する。
専 任 主 事	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする複雑な事務に従事する。
専 任 技 師	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする複雑な技術に従事する。
主 任 主 事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 任 技 師	上司の命を受けて、複雑な技術に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。
技 師	上司の命を受けて、技術に従事する。

2 前項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
専 任 主 幹	上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
主 幹	上司の命を受けて、図書館の特定の事務を掌理する。
専 任 副 主 幹	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
副 主 幹	上司の命を受けて、その相当高度の専門的業務に従事し、又は図書館の特定の事務を掌理する。
専 任 主 査	上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とするその専門的業務に従事する。
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。

- 3 前2項に規定する職のほか、図書館に、必要に応じ、専門主幹、専門主事及び専門技師を置く。
- 4 専門主幹は、上司の命を受けて、専門知識及び経験を必要とする図書館の特定の事務を掌理する。
- 5 専門主事は、上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする事務に従事する。
- 6 専門技師は、上司の命を受けて、専門的知識及び経験を必要とする技術に従事する。
(その他の職)

第9条 前条に規定する職のほか、必要に応じ、会計年度任用職員を置く。

- 2 会計年度任用職員は、上司の命を受けて、事務又は技術に従事する。

第3章 図書館奉仕

第1節 通則

(開館時間)

第10条 図書館の開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 閲覧室及び対面朗読室
午前9時から午後7時まで
- (2) 児童図書室、特別展示室、研修ホール、研修室及び視聴覚室
午前9時から午後5時まで
- 2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。
(休館日)

第11条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)にあたるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月4日まで(前号に掲げる日を除く。)
- (3) 特別整理期間(あらかじめ、館長が定めて公示する期間)
- 2 前項の規定にかかわらず、館長は、特に必要があると認めるときは、臨時に前項の休館日に開館し、又は開館日に休館することができる。この場合においては、その都度公示するものとする。
(入館の制限等)

第12条 館長は、図書館を利用しようとする者が次の各号の一に該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) 条例若しくはこの規則又は館長の指示に従わないとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。
(損害賠償)

第13条 故意又は過失によって図書館資料等を亡失し、又は損傷した者は、その損害を賠償しなければならない。

第2節 図書館資料の館内利用

(図書館資料の館内利用)

第14条 図書館資料は、館内の所定の場所において利用することができる。

(図書館資料の複写)

第15条 図書館資料の複写は、著作権法(昭和45年法律第48号)第31条の規定に基づき、利用者の調査研究の用に供するために、図書館が所有する図書館資料を用いて、公表された著作物の一部分について行うものとする。

(図書館資料の複写の申込み)

第16条 図書館資料の複写を依頼しようとする者は、図書館資料複写申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

(図書館資料の複写に要する費用等)

第16条の2 前条の規定により、図書館資料の複写を依頼しようとする者は、当該図書館資料の複写に要する費用を負担しなければならない。

- 2 前項の図書館資料の複写に要する費用は、次の表に定める額とし、同費用は前納しなければならない。

区 分	単 位	金 額
電子複写(単色のもの)	複写1面につき	10円
電子複写(カラーのもの)	複写1面につき	50円
マイクロフィルム複写	1枚につき	50円

(図書館資料の複写の制限)

第17条 次の各号に掲げる図書館資料は、複写することができない。

- (1) 寄託資料でその寄託契約の条件として複写が禁止されているもの
 - (2) 技術的に複写が困難な図書館資料
 - (3) 複写することによって損傷するおそれのある図書館資料
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が複写することを不適当と認めた図書館資料
- (複写物の利用上の責任)

第18条 複写物の利用による著作権法上の責任は、当該複写物の提供を受けた者が負うものとする。

(参考調査相談)

第19条 図書館資料に係る参考調査相談(以下「参考調査相談」という。)をしようとする者は、口頭、電話、文書その他の方法により、申し込むことができる。

2 参考調査相談に対する回答は、主として図書館資料その他の資料を提供して行うものとする。

(回答を行わない事項)

第20条 古文書、美術品等の鑑定、法律相談、医療相談、学習課題の解答その他回答することが不適当と認められる事項に係る参考調査相談に対しては、回答を行わないものとする。

第3節 図書館資料等の館外利用

(図書館資料の館外利用)

第21条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、館長が別に定めるところにより、宮崎県立図書館貸出利用券(以下「貸出利用券」という。)の交付を受けなければならない。

第22条 図書館資料を館外において利用しようとする者は、貸出利用券を係員に提示し、その手続をしなければならない。

2 館外において利用することのできる図書館資料の数は、利用者1人につき、未返却図書館資料の数を含め10点以内(うち、児童図書室の図書館資料は、未返却図書館資料の数を含め5点以内)とする。

3 図書館資料の館外利用の期間は、2週間以内とする。

(団体文庫及び巡回文庫)

第23条 図書館に、読書団体が館外において利用する文庫として団体文庫を設け、市町村の機関が館外において利用する文庫として巡回文庫を設ける。

2 前項の利用に関しては、館長が別に定める。

(視聴覚機器の館外利用)

第24条 視聴覚機器を館外において利用することのできる者は、社会教育及び生涯学習に関連のある研修等を行う団体(以下「社会教育等団体」という。)とする。

2 第21条及び第22条第1項の規定は、社会教育等団体が視聴覚機器を館外において利用しようとする場合について準用する。

(図書館資料の館外利用の制限)

第25条 次の各号に掲げる図書館資料は、館外利用をすることができない。

- (1) 貴重図書、古文書、新聞類及び保存用雑誌類並びにマイクロ資料
- (2) 参考図書及び郷土資料のうち館長が指定したもの
- (3) 寄託資料又は貸与資料で寄託者又は貸与者が館外利用を承認しないもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、館長が館外利用を不適当と認めた図書館資料

(図書館資料等の館外利用の停止等)

第26条 館長は、次の各号の一に該当するときは、図書館資料又は視聴覚機器(以下「図書館資料等」という。)の館外利用を一定期間停止し、又は貸出利用券を無効として再交付しないことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により貸出利用券の交付を受けたとき。
- (2) 貸出利用券を他人に譲渡し、又は貸与したときその他不正に使用したとき。
- (3) 利用した図書館資料等を期限内に返還しないとき。

(貸出利用券の紛失又は破損)

第27条 貸出利用券の交付を受けた者は、当該貸出利用券を紛失し、又は破損したときは、直ちにその旨を館長に届け出て、所定の手続に従い、再交付を受けなければならない。

(図書館資料等の亡失又は損傷)

第28条 図書館資料等を館外において利用しようとする者は、当該図書館資料等を亡失し、又は損傷したときは、直ちにその旨を館長に届け出なければならない。

(図書館資料等の特別貸出し)

第29条 第21条、第22条、第24条及び第25条の規定にかかわらず、館長は、次の各号の一に該当する者に対し、図書館資料等の特別貸出しをすることができる。

- (1) 公用の研究又は調査のため必要があると認められる者
 - (2) 学術に関する研究又は調査のため必要があると認められる者
 - (3) 前2号に掲げる者のほか、館長が適当と認める者
- 2 図書館資料等の特別貸出しに関し必要な事項は、館長が別に定める。

第4節 研修ホール等の利用

(研修ホール等の利用)

第30条 研修ホール、研修室及び視聴覚室（以下「研修ホール等」という。）を利用することができる者は、社会教育等団体とする。

第31条 研修ホール等を利用しようとする者（以下「研修ホール等の利用者」という。）は、研修ホール等利用申込書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 前項の規定による利用の許可は、研修ホール等利用申込書を交付して行う。
- 3 館長は、次の各号の一に該当するときは、研修ホール等の利用を許可しないものとする。
 - (1) 研修ホール等利用申込書の内容に偽りがあるとき。
 - (2) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
 - (3) 施設、設備、図書館資料等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 - (4) もっぱら営利を目的とし、又はそのおそれがあると認められるとき。
 - (5) 設置目的に反する利用をするおそれがあると認められるとき。
 - (6) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員若しくはこれら暴力団及び暴力団員と密接な関係を有する者の利益になると認められるとき。
 - (7) 前各号に掲げる場合のほか、図書館の管理運営上支障があると認められるとき。

(研修ホール等の利用の許可の取消し等)

第32条 館長は、研修ホール等の利用者が前条第3項各号の一に該当するに至ったときは、その利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

- 2 前項の規定による取消し等によって研修ホール等の利用者に損害が生じても、県は、その損害の賠償の責めは負わないものとする。

第5節 図書館資料の寄贈及び寄託

(図書館資料の寄贈及び寄託)

第33条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 図書館資料の寄託に要する費用は、原則として寄託者の負担とする。
- 3 図書館資料の寄贈及び寄託の手続については、館長が別に定める。

(寄託資料の取扱い)

第34条 寄託資料の管理については、図書館の所有する図書館資料に準じて行う。ただし、寄託者の承認がある場合を除き、館外において利用できないものとする。

(寄託資料の賠償責任)

第35条 寄託資料が天災その他不可抗力により滅失し、又は損傷したときは、県は、その損害の賠償の責めを負わないものとする。

第4章 雑則

(委任)

第36条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
(県立図書館規則等の廃止)
 - 2 次に掲げる規則は、廃止する。
 - (1) 県立図書館規則（昭和26年宮崎県教育委員会規則第1号）
 - (2) 県立図書館附設設備利用規則（昭和40年宮崎県教育委員会規則第5号）
- 附 則（平成2年4月17日教育委員会規則第8号）
この規則は、公布の日から施行する。
附 則（平成4年8月25日教育委員会規則第8号）
この規則は、平成4年9月1日から施行する。
附 則（平成7年3月31日教育委員会規則第10号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年3月29日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年5月22日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成9年6月1日から施行する。

附 則（平成13年3月30日教育委員会規則第9号）

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月29日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成18年3月30日教育委員会規則第12号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第3号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月31日教育委員会規則第6号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成23年2月21日教育委員会規則第1号）

この規則は、平成23年3月1日から施行する。

附 則（平成23年7月21日教育委員会規則第4号）

この規則は、平成23年8月1日から施行する。

附 則（平成27年3月31日教育委員会規則第10号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月29日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月30日教育委員会規則第5号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日教育委員会規則第3号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和7年4月1日教育委員会規則第5号）

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

(3) 県立図書館協議会運営規則

（昭和26年2月16日 教育委員会規則第3号）

第1条 県立図書館協議会（以下「協議会」という。）に議長及び副議長各1人を置く。

2 議長及び副議長は、協議会委員（以下「委員」という。）の互選とし、その任期は委員の任期による。

3 議長は、委員の会議を主宰する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を行う。

第2条 図書館長は、協議会開催の日時、場所及び議題を、あらかじめ委員に通知しなければならない。

2 協議会招集の通知後に、緊急の議題が提案されたときは、直ちに、これを付議することができる。

第3条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決する。

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会において定める。

附 則

この規則は、昭和26年4月1日から施行する。

(4) 宮崎県立図書館資料収集方針

(平成18年8月1日 施行)
(最終改正 令和7年7月31日)

1 趣旨

この収集方針は、宮崎県立図書館（以下、「県立図書館」という。）の、図書館資料（以下、「資料」という。）の収集に関して、必要な事項を定めるものとする。

2 基本方針

県民への社会教育の推進、及び県民の生涯にわたる学習活動を支援するために、各分野における基本的な資料から専門的な資料まで幅広く収集し、特に下記事項について、重点的に取り組むものとする。

(1) 県立図書館としての役割による収集

県全域への均衡ある図書環境を充実させるために、市町村の図書館や図書室（以下、「市町村立図書館等」という。）と連携・協力を図り、それぞれの役割を踏まえた資料の収集に努めるものとする。

(2) 学校教育援助のための収集

社会教育と学校教育との連携のもと、学校教育における課題解決や児童生徒の学習活動を援助するために、必要とする資料の収集に努めるものとする。

(3) 郷土資料充実のための収集

本県の歴史、文化、行政など郷土に関する資料を次世代に引き継いでいくために、市町村立図書館等と連携・協力を図りながら、県内各地域に関わる資料の収集に努めるものとする。

(4) 子ども読書活動推進のための収集

家庭や地域、学校等と連携・協力を図りながら、読み聞かせや自主的な読書など子どもたちの読書活動を推進するために、全県的な取組に向けた適切な資料の収集に努めるものとする。

(5) 特色ある図書館づくりのための収集

本県のすばらしい自然環境の保護と、国土保全を担いかつ本県産業の基盤である農林水産業の発展に資するために、県民の理解や意識の高揚、啓発につながる特色ある資料の収集に努めるものとする。

(6) 地域や社会人支援のための収集

地域や社会人が、その時々々の社会情勢や様々な要因によって抱える課題の解決を支援するために関係機関との連携・協力を図りながら、関連する分野の総体的な資料収集に努めるものとする。

3 資料別収集基準

収集に当たっては、2の基本方針を踏まえ、次に掲げる資料ごとの基準により、予算の範囲内において効率的で適切な収集を行う。

(1) 一般資料

一般資料とは、次の(2)から(10)に掲げる以外の資料をいう。

ア 総記

(ア) 情報科学は、最新のものから解説書を中心に収集する。

(イ) 図書館、図書に関する資料は広く収集する。

イ 哲学・宗教

(ア) 哲学は、入門書や解説書などを中心に体系的に収集する。

(イ) 心理学、倫理学は、解説書、研究書を収集する。

(ウ) 宗教は、平易に書かれた解説書を中心に収集する。

ウ 歴史・地理

(ア) 歴史は、各時代における入門書、研究書、史料等を収集する。

(イ) 伝記は、著名人に関するものを広く収集する。

(ウ) 地理、地誌、紀行は、解説書を中心に収集する。

エ 社会科学

(ア) 今日の課題を踏まえて収集する。

(イ) 法令等の改正に伴う資料は、手引書や解説書を収集する。

(ウ) 統計資料等は、広く継続的に収集する。

(エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。

オ 自然科学・医学

(ア) 自然科学は、幅広く収集する。

(イ) 天文学や地球科学及び生物科学は、積極的に収集する。

- (ウ) 医学・薬学は、各細目にわたり、入門書、解説書を中心に収集する。
- (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。
- カ 技術・家政学
 - (ア) 技術、工学は、最新の情報に留意して収集する。
 - (イ) 環境を取り扱った資料は、幅広く積極的に収集する。
 - (ウ) 家政学は、解説書を中心に収集する。
 - (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。
- キ 産業
 - (ア) 農林水産業に関する資料は、幅広く積極的に収集する。
 - (イ) 商業や観光は、地域支援に関するものを中心に収集する。
 - (ウ) 運輸、通信は、最新の情報に留意して収集する。
 - (エ) 専門書は、基礎的なものを中心に収集する。
- ク 芸術・スポーツ・諸芸
 - (ア) 芸術は、解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
 - (イ) スポーツはルール改正に留意し、解説書、技術書等を収集する。
 - (ウ) 諸芸は、解説書、研究書を中心に収集する。
- ケ 言語
 - (ア) 言語学、辞典類は広く収集する。
 - (イ) 文章、会話、方言などは解説書を中心に収集する。
- コ 文学
 - (ア) 古典や研究書などを充実させる。
 - (イ) 主な文学賞受賞作品は収集する。
 - (ウ) 全集、作品集は広く収集する。
- (2) 参考資料

参考資料とは、特定の知識、情報について調べるための資料をいう。

 - ア 調査研究やレファレンスなどの業務に役立つ各分野の資料を収集する。
 - イ 学術的に評価のあるものを収集する。
 - ウ 各種統計報告書などのデータ資料、また国等の行政機関による刊行物は、積極的に収集する。
- (3) 児童資料

児童資料とは、乳幼児が見る赤ちゃん絵本から、中学生向きの読み物に至る子どもの資料をいう。

 - ア それぞれの年齢、発達段階に応じた資料を幅広く収集する。
 - イ 長く読み継がれるなど、評価の定まった資料は、もれなく収集する。
 - ウ 児童文学研究や読書活動推進に関する資料を収集する。
- (4) 青少年資料

青少年資料とは、主に10代を対象とした資料をいう。

 - ア 青少年の読書活動の推進を図るため、興味関心等も考慮し、感性和創造力を豊かにする資料を幅広く収集する。
 - イ 生活や学習の課題解決などに関する資料を収集する。
- (5) 郷土資料

郷土資料とは、郷土や郷土関係者などに関する資料をいう。

 - ア 宮崎県全域および歴史的、社会的に関係の深い地域の資料を、網羅的に収集する。
 - (ア) 郷土の事物や郷土にゆかりのある人について記載された資料
 - (イ) 本県および県内市町村または国その他公的機関が刊行、あるいは作成した資料
 - (ウ) 郷土で活動する個人や団体などが作成した資料
 - (エ) 古文書等史資料
 - (オ) 郷土にゆかりのある人が著した資料
 - イ 郷土資料として収集するものは、図書、古文書、絵図、地図、写真、逐次刊行物、パンフレット類、視聴覚資料等を対象とする。
- (6) 逐次刊行物

逐次刊行物とは、終期が予定されず、同一の標題のもと、巻号や年月などに表示され定期的（あるいは不定期）に刊行される資料をいう。

 - ア 雑誌
 - (ア) さまざまな分野における県民の学習支援のための雑誌
 - (イ) 九州各県で、分担保存の取り決めをしている雑誌
 - (ウ) 県内公共図書館等で、分担保存の取り決めをしている雑誌
 - イ 新聞
 - (ア) 主要な全国紙
 - (イ) 九州各県の主要な地方紙

(ウ) 業界紙、子ども紙、外国紙

(7) 視聴覚資料

視聴覚資料とは、図書館資料のうち、映像、音声など文字以外の表現方法で主に記録され、図書館法に定める視聴覚教育の資料をいう。

ア 県民の教育文化に向上に資する資料を収集する。

(ア) 視聴覚事業及び社会教育関係団体の活動、学校の教育活動に活用できる資料

(イ) 高く評価され感動的な資料

(ウ) 国内外で受賞した芸術性の高い資料

(8) 外国語資料

外国語資料とは、対象が主として外国人向けで、主に日本語以外で表現された資料をいう。

ア 外国人への情報提供の充実、および県民の外国理解に役立つ資料を収集する。

(ア) 日本の歴史、文化等に関する資料、日本文学の翻訳資料

(イ) 外国の歴史、文化、文学等に関する資料

(ウ) 外国人が、日本での生活に必要とする情報を提供できる資料

(9) 電子資料

電子資料とは、インターネット上で公開されている資料や、電磁的媒体に記録された資料、オンラインデータベース、電子書籍などの資料をいう。

ア 内容、検索の多様性、操作性等を考慮して収集する。

イ 資料別収集基準上必要と認められるものは収集する。

(10) その他

幅広い利用者への資料の提供及び資料の適切な保存や活用を図るため、次の仕様による資料も適宜収集する。

ア 大活字本、音声資料

イ マイクロフィルム資料

ウ 新聞、雑誌などの製本資料

4 資料収集の体制

(1) 図書、逐次刊行物及び視聴覚資料など資料収集の検討を行うため、宮崎県立図書館図書選定連絡会（以下「連絡会」という。）を置く。

(2) 連絡会の設置及び運営については、別途要領を定める。

附 則

この方針は、平成18年8月1日から施行する。従前の「宮崎県立図書館資料収集方針」（平成9年4月1日施行）は廃止する。

一部改正 平成28年4月1日

一部改正 平成30年4月1日

一部改正 令和7年7月31日

(5) ひなた電子図書館サービスにおける電子書籍選書方針

(令和6年5月21日 施行)

(目的)

第1条 この方針は、宮崎県立図書館資料収集方針に基づき、ひなた電子図書館サービスにおける電子書籍（以下「ひなデジ電子書籍」という。）の選書について、必要な事項を定めることを目的とする。

(選書の基本的方針)

第2条 ひなデジ電子書籍の選書の基本方針は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 選書対象は、アクセス権が無期限の資料を基本とするが、県内の市町村立図書館における電子書籍の導入状況や役割分担を考慮した上で、アクセス権に期限及び回数制限のある資料も含むものとする。

(2) 幅広い県民のニーズに対応するため、次条各号に掲げる資料からバランスよく選書するものとする。特に、次条第3号から第5号の資料については、積極的に選書することとする。

(資料別選書方針)

第3条 資料別の選書方針は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 調査・研究及びレファレンスに有用な資料

県民の生活や仕事に役立ち、調査研究を行うために必要な辞書、事典、便覧、統計、年鑑等、課題解決の支援に必要な資料を選書する。

(2) 県民のニーズを満たし、生活を豊かにするための資料

県内の市町村立図書館における電子書籍の導入状況や役割分担を考慮した上で、子育て、趣味、健康など幅広い分野の一般書を選書する。

(3) 読書バリアフリーに対応した資料

ア 音声読み上げ機能、文字の拡大や背景色の変更が可能な資料など、障がい者や高齢者に配慮した資料を選書する。

イ 病気や子育て、介護などにより来館が困難な利用者のニーズに合った資料を選書する。

(4) 郷土の歴史などを次世代に引き継いでいくための資料

ア 宮崎県の歴史、風土、政治、社会、文化等に関する郷土資料を選書する。

イ 宮崎県にゆかりのある人の著作、各種関係資料などを選書する。

(5) 子どもの読書活動や調べ学習に活用できる資料

ア 子どもの発達段階、興味・関心に応じた絵本や児童文学などを選書する。

イ 小・中・高等学校、特別支援学校等の授業に活用できる資料、学校図書館を支援する資料を選書する。

(選書における留意事項)

第4条 ひなデジ電子書籍の選書に当たっての留意事項は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 客観的に公正な立場で選書する。

(2) 禁帯出本など紙媒体の図書との補完を考慮し、電子書籍の特徴を生かした資料を選書する。

(3) 常に新鮮で、利用者の期待に応え得る資料を充実させるため、継続的に選書する。

(4) 利用の傾向や利用者からの推薦も参考にして選書する。

(5) 県内の市町村立図書館における電子書籍の導入状況を注視し、必要に応じて選書方針の見直しを行う。

(導入資料の決定)

第5条 導入する資料は、宮崎県立図書館長が決定する。なお、決定に当たっては、選書委員会の意見を聴くものとする。

(協議)

第6条 この方針に定めるもののほか、特別に考慮する事情が生じた場合は、その都度協議する。

附 則

この方針は、令和6年5月21日から施行する。

(6) 宮崎県立図書館「みどりに関する資料」特別収集要領

1 目的

21世紀に宮崎県のめざす「人と自然の共生する地域環境づくり」を支援するとともに、県立図書館にふさわしい特色ある蔵書構成の向上を図るため、太陽と緑の国みやぎきのイメージにあった「みどりに関する資料」を特別収集する。

2 収集方針

(1) 特別収集する資料は、「みどりに関する資料」とし、内容は下記のとおりとする。

- ・「自然に関する資料」
- ・「環境に関する資料」
- ・「緑の文学に関する資料」

(2) 県民が自然や緑のすばらしさと大切さを知り、これらに親しむことができる資料を収集する。

(3) 県民の環境教育・環境学習の推進に役立ち、環境保全に対する意識の高揚と啓発につながる資料を収集する。

3 「みどりに関する資料」収集内容

「自然に関する資料」

- ・森林 ・植物 ・動物 ・海洋 ・自然公園 ・天然記念物
- ・河川 ・湖沼 ・農業 ・園芸 ・ビオトープ ・アウトドア
- ・グリーンツーリズム ・林業 ・国土保全等

「環境に関する資料」

- ・地球環境問題（地球温暖化 熱帯雨林の減少 オゾン層の破壊 酸性雨等）
- ・エコロジー ・リサイクル ・エコライフ ・大気汚染
- ・廃棄物 ・河川汚濁
- ・河川浄化 ・海洋汚染 ・エネルギー等

「緑の文学に関する資料」

- ・自然や環境をテーマとした文学等（ネイチャーライティング 緑の文学批評等）

(7) 資料の除籍に関する要項

(昭和63年4月1日 施行)

(最終改正 平成30年4月1日)

1 目的

この要項は、宮崎県立図書館が所蔵する資料の適正な管理を行うため、資料の除籍についてその必要な事項を定めるものとする。

2 除籍の種類

除籍は、その原因となる事由により、下記の(1)～(7)のように区分する。

(1) 不用

- ① 資料が資料的価値を失い、保存の必要がないと認められた場合。
- ② 複本が必要以上にある場合。
- ③ BM資料で10年を経過したもの。ただし、このうち資料的価値のあるものは本館へ配架替えを行う。
- ④ 逐次刊行物については、別に定めるところによる。

(2) 亡失

- ① 貸出をうけた利用者が、資料を紛失した場合。
- ② 不慮の事故・災害・その他の事由により資料が亡失したと認められる場合。
- ③ 住所不明等により、返却期限から3年を越えて返却されない場合。
- ④ 蔵書点検で、2回連続不明となった場合。

(3) 汚損・破損

- ① 資料の全部あるいは一部が汚れて、文字や絵が判読できない場合。
- ② 資料が破損し、修理不能と判断した場合。

(4) 所管換え

資料を他の所属長に管理替えを行う場合。

(5) 数量更生

受入済の資料を合冊または分冊して数量変更する場合。

(6) 寄託返還

寄託で受け入れた資料を返還した場合。

(7) その他の除籍

その他除籍することが適当と館長が認める場合。

3 除籍の決定

- (1) 資料を除籍しようとするときは、除籍処分調書(様式第7号)に必要事項を記入の上、決裁を受けなければならない。
- (2) 利用者が貸出中に亡失または損傷した場合は、図書館資料亡失・損傷届(宮崎県立図書館閲覧室等利用規程様式第13号)を除籍処分調書に添付する。

4 決裁後の処理

除籍が決定したときは、次の各号に定める処理を行う。

- ① 電算システム上での除籍処理。除籍区分・除籍月日・資料番号等の入力。
- ② 不用で除籍した資料については、資料の標題紙の裏面に除籍印を朱色で押印する。
- ③ 不用で除籍した資料で、市町村立図書館等へ寄贈してもよいものがあれば、各図書館等へ紹介する。

附 則

この要項は昭和63年4月1日から施行する。

一部改正 平成12年 3月 3日

一部改正 平成29年 1月26日

一部改正 平成30年 4月 1日

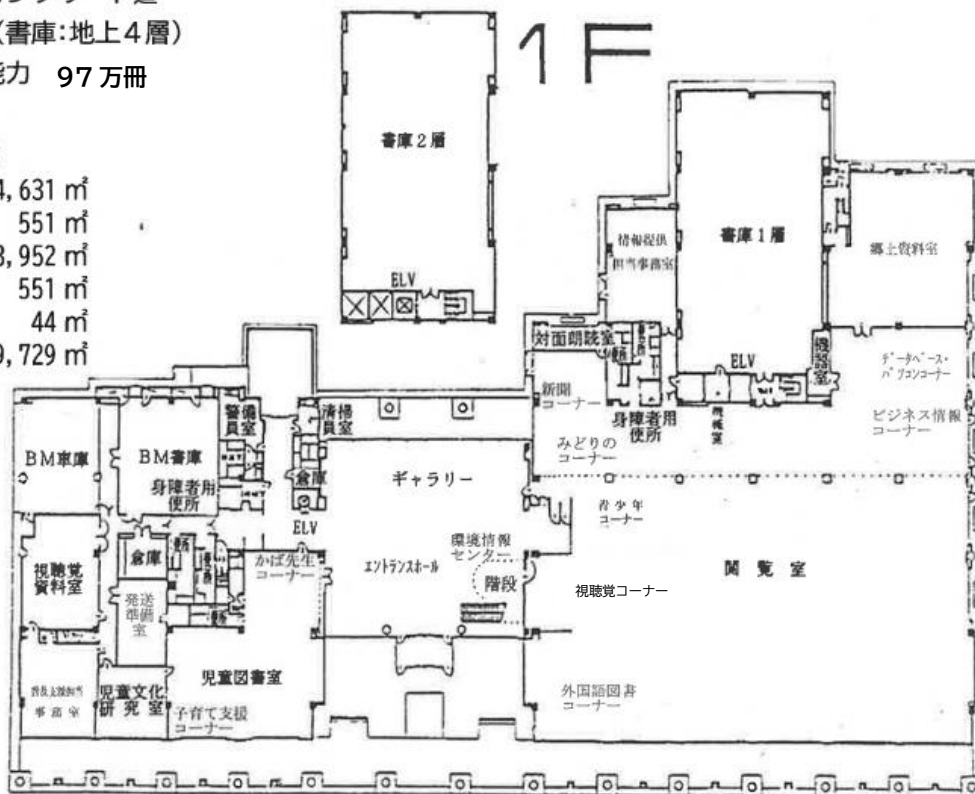
3 施設概況

(1) 構造

鉄筋鉄骨コンクリート造
地上2階（書庫：地上4層）
図書収蔵能力 97万冊

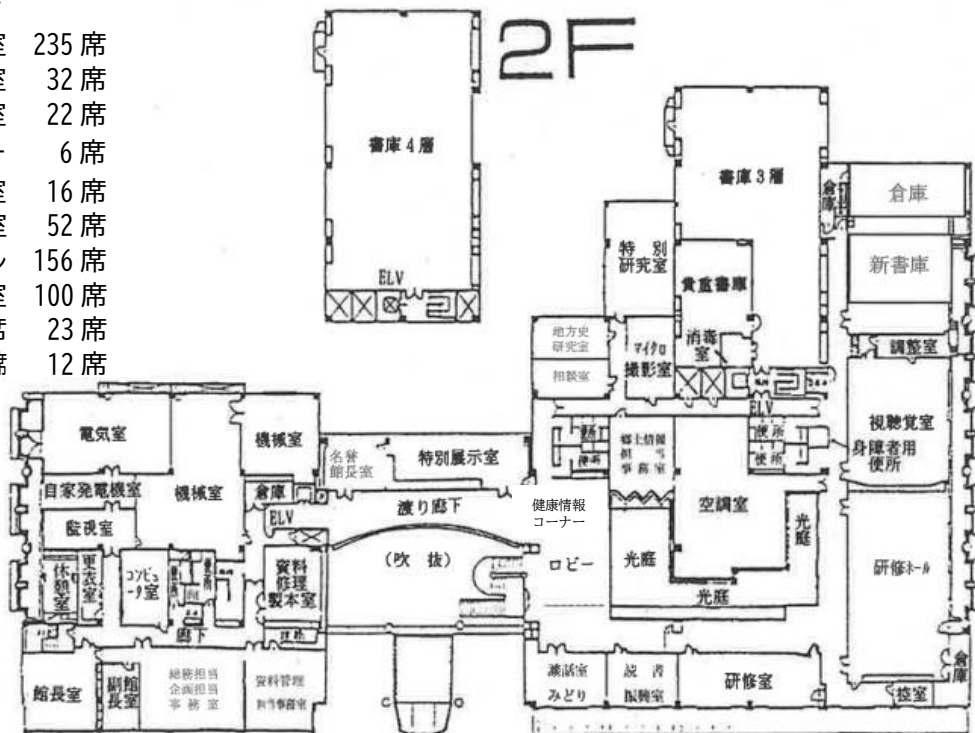
(2) 床面積

1 階 4,631㎡
551㎡
2 階 3,952㎡
551㎡
屋 階 44㎡
合 計 9,729㎡



(3) 座席数

一般閲覧室 235 席
郷土資料室 32 席
児童図書室 22 席
視聴覚コーナー 6 席
読書振興室 16 席
研修室 52 席
研修ホール 156 席
視聴覚室 100 席
パソコン席 23 席
新聞コーナー席 12 席



4 市町村立図書館一覧

図書館名	館長名	郵便番号	所 在 地	電話番号	FAX 番号
宮崎市立図書館	中原 伸治郎	880-0930	宮崎市花山手東3丁目25番地3	0985-52-7100	0985-52-7158
宮崎市立佐土原図書館	河野 芳州	880-0211	宮崎市佐土原町下田島20527番地4	0985-30-1037	0985-72-2066
都城市立図書館	前田 小藻	885-0071	都城市中町16街区15号	0986-22-0239	0986-22-0251
都城市立高城図書館(分館)	〃	885-1202	都城市高城町穂満坊105番地	0986-58-4224	0986-58-4245
延岡市立図書館	甲斐 保孝	882-0812	延岡市本小路39番地1	0982-32-3058	0982-22-0644
延岡市立図書館北方分館	〃 (兼)北浦分館・北川分館長	882-0125	延岡市北方町川水流卯1236番地2	0982-28-5200	0982-28-5201
延岡市立図書館北浦分館	〃 (兼)北方分館・北川分館長	889-0301	延岡市北浦町古江1943番地1	0982-45-2466	0982-45-2466
延岡市立図書館北川分館	〃 (兼)北方分館・北浦分館長	889-0192	延岡市北川町川内名7250番地	0982-46-2047	0982-46-2065
日南市立図書館	梶渡 良也 (兼)生涯学習課長	889-2535	日南市飫肥2丁目6番18号	0987-25-0158	0987-25-1200
日南市立まなびピア図書館	〃	887-0013	日南市木山2丁目4番44号 日南市生涯学習センターまなびピア内	0987-22-5666	-----
日南市立北郷図書館	〃	889-2402	日南市北郷町郷之原乙1570番地	0987-55-2469	0987-55-2469
日南市立南郷図書館	〃	889-3204	日南市南郷町中村乙7051番地25 南郷ハートフルセンター内	0987-64-0924	-----
小林市立図書館	田鍋 友皇	886-0004	小林市細野367番地1	0984-22-7913	0984-22-4333
小林市立図書館野尻分館	〃	886-0212	小林市野尻町東麓1183番地2	0984-44-1100	-----
小林市立図書館須木分館	〃	886-0111	小林市須木中原1741番地1	0984-48-2954	-----
日向市立図書館	海野 由紀	883-0035	日向市春原町1丁目47番地	0982-54-1919	0982-54-5444
串間市立図書館	黒木 さやか	888-0001	串間市大字西方6524番地58	0987-72-1177	0987-72-0803
西都市立図書館	吹井 伸二 (兼)社会教育課長	881-0003	西都市大字右松2606番地1	0983-43-0584	0983-41-1113
えびの市民図書館	谷川 みく	889-4311	えびの市大字大明司2146番地2	0984-35-0242	0984-35-3040
三股町立図書館	米丸 麻貴生 (兼)教育長	889-1901	北諸県郡三股町大字樺山3406番地8	0986-51-3200	0986-51-3751
国富町立図書館	桑畑 武美 (兼)社会教育課長	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄4768番地2	0985-75-9577	0985-75-9558
綾てるは図書館	玉田 清人	880-1302	東諸県郡綾町大字北俣462番地2	0985-77-0180	0985-77-0585
町立高鍋図書館	長尾 広則	884-0003	児湯郡高鍋町大字南高鍋551番地	0983-21-1152	0983-21-1153
新富町図書館	福重 和泉 (兼)生涯学習課長	889-1403	児湯郡新富町大字上富田6345番地5 新富町総合交流センター「きらり」内	0983-32-7878	0983-33-5928
川南町立図書館	森 隆茂	889-1302	児湯郡川南町大字平田2386番地3	0983-27-7111	0983-27-7100
都農町民図書館	吉川 理恵 (兼)教育課長	889-1201	児湯郡都農町大字川北5448番地2	0983-25-3316	0983-25-2683
門川町立図書館	椿原 悟 (兼)教育課長	889-0611	東臼杵郡門川町大字門川尾末1611番地1	0982-68-0001	0982-68-0024
美郷町立西郷図書館	大坪 隆昭 (兼)教育長	883-1101	東臼杵郡美郷町西郷田代1870番地	0982-62-6204	0982-66-2131
美郷町立北郷図書館	〃	889-0901	東臼杵郡美郷町北郷字納間401番地	0982-62-6205	0982-62-6193
美郷町立南郷図書館	〃	883-0306	東臼杵郡美郷町南郷神門287番地	0982-59-1605	0982-59-1119
椎葉村図書館「ぶん文Bun」	黒木 保隆 (兼)村長	883-1601	東臼杵郡椎葉村大字下福良1829番地70	0982-67-2177	-----
高千穂町立図書館	戸敷 二郎 (兼)教育長	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井723番地1	0982-72-7219	0982-72-5515
日之影町立図書館	橋本 範憲 (兼)教育長	882-0401	西臼杵郡日之影町大字七折9079番地	0982-87-3809	0982-87-3816

※令和8年4月1日現在

5 利用案内

(1) 開館・休館

① 開館時間

一般閲覧室 午前9時～午後7時

児童図書室 午前9時～午後5時

② 休館日

月曜日（月曜日が休日の場合はその日以後で最も近い平日）

年末年始（12月28日～1月4日）

特別整理期間（9月14日～9月17日、令和9年1月5日～令和9年2月8日）

(2) 貸出

冊数 一人10冊まで（ただし、児童図書室の本は5冊まで）

期間 14日以内

(3) 電話

0985-29-2911	全般的な問合せ・・・・・・・・・・・・・・・・	総務・企画課総務担当
0985-29-2911	各種図書館事業の企画・広報・・・・・・・・	総務・企画課企画担当
0985-29-2970	資料の寄贈・・・・・・・・・・・・・・・・	総務・企画課資料管理担当
0985-29-2956	やまびこ文庫、団体文庫、視聴覚事業・・・・・・・・	情報提供課普及支援担当
0985-29-2954	郷土情報に関する問合せ・・・・・・・・	情報提供課郷土情報担当
0985-29-2596	図書の貸出・返却・・・・・・・・	情報提供課情報提供担当
0985-29-2972	資料に関する問合せ・・・・・・・・	情報提供課情報提供担当

(4) ファクシミリ

0985-29-2491（総務担当・企画担当・資料管理担当）

0985-29-2961（普及支援担当）

0985-22-9070（郷土情報担当・情報提供担当）

(5) 電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp（代表）

soudan@lib.pref.miyazaki.lg.jp（レファレンス）

(6) ホームページ（当館の図書の検索、行事案内情報等の閲覧ができます）

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>

(7) SNS

フェイスブック <https://www.facebook.com/miyazaki.prefectural.library/>

インスタグラム https://www.instagram.com/miyazaki_pref_lib/

宮崎県立図書館

Live!
Library
Miyazaki Prefectural Library

所在地

〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1 宮崎県総合文化公園内

電話

総務・企画課

総務担当 0985-29-2911

企画担当 0985-29-2911

資料管理担当 0985-29-2970

情報提供課

普及支援担当 0985-29-2956

郷土情報担当 0985-29-2954

情報提供担当 0985-29-2596

レファレンス用 0985-29-2972

ファクシミリ

総務・企画課

総務担当 0985-29-2491

企画担当 0985-29-2491

資料管理担当 0985-29-2491

情報提供課

普及支援担当 0985-29-2961

郷土情報担当 0985-22-9070

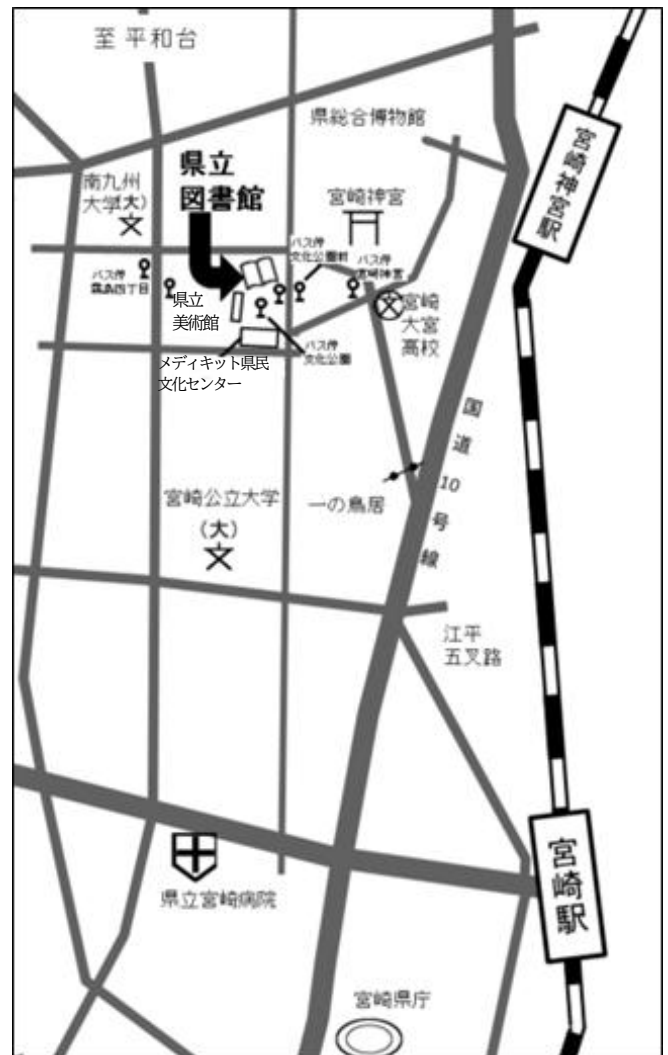
情報提供担当 0985-22-9070

電子メール

toshokan@pref.miyazaki.lg.jp (代表)

ホームページアドレス

<https://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp/>



令和8年度 宮崎県立図書館要覧

発行年月

令和8年7月

編集・発行

宮崎県立図書館